

消防年報

令和4年（2022年）版



安来市消防本部

（令和5年刊行）

は し が き

この年報は、安来市管内の消防現勢及び令和4年中の消防業務に関する実績を資料として編集したものです。

消防情勢を紹介することにより消防行政をご理解いただき、地域の防火、防災の一助となりますようご活用いただければ幸甚に存じます。

なお、資料の一部は当該表に記載する日付によりますが、日付の記載のないものは令和5年4月1日現在で掲載しております。

令和5年7月

安来市消防本部

目 次

1. 安来市消防本部のあらまし	1	~	12
2. 安来市の概況			13
3. 消防本部位置図			13
4. 消防本部管内図			14
5. 機材配置表			14
【消防総務課】			
1. 安来市消防本部の組織機構			15
2. 事務分掌（消防本部）	16	~	17
3. 事務分掌（消防署）			18
4. 歴代消防長・次長・消防署長			19
5. 職員の定数と実員			20
6. 条例定数と実員の推移			20
7. 職員の年齢構成			21
8. 職員の研修状況			21
9. 職員の勤続年数			22
10. 職員の資格取得状況			23
11. 例規整備			23
【予防】			
1. 建築同意処理件数			24
2. 防火対象物の現況			25
3. 各種届出件数			26
4. 立入検査等件数			26
5. 防火クラブ結成状況			27
6. 危険物関係事務処理件数			28
7. 地域別危険物施設数			29
8. 危険物数量別施設数			29
9. 火薬類取締法等事務処理件数			30
10. 予防広報活動	31	~	32
【警防】			
1. 消防車両等現有状況			33
2. 地域別消防水利保有状況			34
【火災】			
1. 過去5年間火災状況			35
2. 過去5年間出火率			35
3. 曜日別件数			36

4.	時刻別件数	36
5.	地域別火災発生件数（過去10年間）	36
6.	地域別火災発生状況（過去10年間）	37
7.	地域別火災損害状況（令和3年・令和4年）	38
8.	地域別火災発生件数（令和3年・令和4年）	38
9.	月別原因別火災発生件数	39
10.	月別火災発生状況	40 ~ 41

【救急・救助】

1.	救急活動状況	42
2.	5年間の救急活動状況	43
3.	地域別出動件数	44
4.	年齢区分別搬送人員	44
5.	傷病程度別搬送人員	44
6.	覚知曜日別出動件数	45
7.	時間帯別出動件数	45
8.	月別救急活動状況	46
9.	傷病程度別搬送人員	47
10.	覚知方法別出動件数	47
11.	5年間の現場到着所要平均時間	48
12.	5年間の病院収容所要平均時間	48
13.	5年間の救急救命処置実施数の推移	49
14.	5年間の心肺機能停止傷病者搬送件数	49
15.	5年間の応急手当普及啓発実施状況	50
16.	救助活動状況	51

【通信指令課】

1.	無線通信施設	52
2.	覚知種別・受信種別受信件数	53
3.	火災等の問い合わせ電話利用状況	53
4.	119番受信時の口頭指導実施状況	54

【消防団】

1.	消防団の組織図	55
2.	消防団の施設状況	56
3.	消防団員数	56
4.	消防団員年額報酬	57
5.	消防団員費用弁償	57
6.	消防団員の年齢構成	57
7.	消防団員の勤続年数	57
8.	消防団員の研修状況	57

安来市消防本部のあらまし

昭和29年	4月	1日	安来市消防本部設置、職員専任4名、兼任6名 フォード型 1936年式85馬力 吉谷式消防ポンプ自動車1台を配置
	10月	1日	職員定数改正、専任4名、兼任12名
昭和31年	5月	14日	職員定数改正、専任4名、兼任20名
	9月	3日	安来市と松江市、東出雲町、各市町間で消防相互応援協定を締結
	9月	7日	安来市、伯太町間で消防相互応援協定を締結
昭和33年	4月	10日	安来市消防署設置 フォード型 1936年式85馬力 吉谷式消防ポンプ自動車1台を配置換え 職員定数専任5名、兼任20名
昭和34年	7月	1日	消防職員の兼任を解き、専任15名
	11月	25日	安来市危険物保安協会設立、正会員20名、準会員60名、賛助会員28名
	12月	12日	トヨタ・ジープ型 125馬力 吉谷式消防ポンプ自動車1台を購入し消防署に配置
昭和35年	4月	1日	職員定数改正、16名
	11月	7日	ラビット型20馬力 小型動力ポンプ1台を購入し、消防署に配置
昭和37年	4月	9日	職員定数改正、19名
昭和39年	9月	1日	消防本部を総務、予防、警防の3系の機構とする
	11月	19日	(社)日本損害保険協会から、ニッサン・ジュニア 130馬力 日本造機式消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、消防署に配置
昭和41年	4月	1日	島根県広域消防相互応援協定を締結 (島根県下全市町村間)
昭和42年	3月	3日	消防力の拡充強化につき特に優秀により、消防庁長官より安来市消防機関に対し竿頭綬を授与
昭和43年	4月	1日	安来市、松江市、米子市、境港市の4市間で、中海臨界都市消防相互応援協定締結
昭和44年	2月	7日	無火災200日記録により、安来市長から消防本部、消防団に対して賞詞を受く
	7月	1日	火災予防の普及等に尽力した功績により、国民安全の日に際し消防庁長官より、安来市消防本部に対し表彰の授与を受く
	12月	26日	ニッサン・ジュニア 130馬力 森田式消防ポンプ自動車1台、ニッサン・パトロール 130馬力 森田式消防ポンプ自動車1台を購入し消防署に配置。これに伴い、消防署配置の旧消防ポンプ自動車2台を消防団に配置換え

昭和44年	12月26日	トヨペット・コロナバン	消防指揮車1台を購入し、消防署に配置
昭和45年	3月25日	トヨタ・MS56VB型	救急自動車1台を購入し、消防署に配置
	4月1日		救急業務実施に伴う増員4名 職員定数改正、23名
	4月11日		救急業務開始
昭和46年	3月30日		消防庁舎新築のため起工式挙行
	9月10日		消防庁舎竣工
	10月1日		消防庁舎新築竣工式挙行
		所在地	島根県安来市安来町917番地28
		庁舎敷地面積	1,506.00m ²
		建築面積	464.89m ²
		建築延面積	932.28m ²
			鉄筋コンクリート2階建一部ホース干場
昭和47年	3月30日	トヨタ・FC100型	47年式115馬力 吉谷式水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置
	4月1日		職員定数改正、25名
昭和49年	4月1日		安来市、広瀬町、伯太町の1市2町により安来市能義郡消防組合を設立
	10月1日		安来市能義郡消防組合業務開始、1本部2課の機構とする
			組合職員定数60名、実員48名
		ニッサン・パトロール	130馬力 森田式消防ポンプ自動車1台、ニッサン・パトロール 130馬力 吉谷式消防ポンプ自動車3台、トーハツ32馬力 小型動力ポンプ4台を購入し、安来消防署、広瀬出張所、伯太出張所、比田分駐所に配置
		トヨペット・コロナライトバン	消防査察広報車1台を購入し、安来消防署に配置
	11月20日	ニッサン・キャラバン VE20型	救急自動車1台を購入し、広瀬出張所に配置
		山之内製薬(株)から、ニッサン・キャラバン VE20型	救急自動車1台の寄贈を受け、伯太出張所に配置
昭和50年	7月8日	トヨタ・ハイエース PH10P型	普通トラック1t車 消防作業車(山林火災等資材運搬用)1台を購入し、安来消防署に配置
	9月10日	(財)日本消防協会から、トヨタ・ハイエース PH11V改型	救急自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置
昭和51年	8月1日		組合職員定数60名、実員53名
昭和52年	4月1日		島根県下市町村及び消防にかかる一部事務組合の相互応援に関する協定締結(昭和41年4月1日締結の旧協定は廃止)
	5月1日		組合職員定数60名、実員60名
	8月18日	三菱・ミニカ 55バン型	消防査察広報車2台を購入し、広瀬出張所、伯太出張所に配置
	12月10日		消防無線受令機を職員に貸与開始

昭和54年	1月31日	安来消防署車庫増築工事竣工 敷地面積 1,580.00m ² 建築延面積 196.68m ² 鉄骨一部2階建
	9月20日	三菱・ミニキャブ ワイド55型 消防査察広報車1台を購入し、安来消防署に配置
	11月2日	(社)日本損害保険協会から、トヨタ・J-FJ56F型 54年式125馬力吉谷式ポンプ自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置。これに伴い、安来消防署へ配置の旧消防ポンプ自動車1台を、消防団に配置換え
	11月24日	いすゞ・JCR420型 54年式150馬力 森田式化学消防自動車1台を購入し、安来消防署に配置
	12月28日	消防救助技術訓練塔竣工 構造 鉄筋コンクリート造り 鉄筋造 1階 15.10m ² 2階 15.10m ² 計 30.20m ²
昭和55年	4月1日	組合職員定数64名、4名を採用し、実員64名
	5月19日	丸永建設(株)から、日産・ブルーバード 55年式100馬力 1台の寄贈を受け、安来消防署に配置
	11月21日	いすゞ・SCR320型 55年式150馬力 吉谷式水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、安来消防署に配置
昭和56年	2月1日	機構改革により、1本部2課制から1本部3課制とする
	2月28日	消防用無線広瀬送受信所を廃止し、無線中継所を新設 所在地 島根県能義郡広瀬町川平地内 局舎敷地面積 38.624m ² 局舎建築面積 4m ² 鉄骨モルタルスレート葺平屋建
	3月26日	島根県共済農業協同組合連合会から、日産・キャラバン J-FPGE23型 56年式92馬力 救急自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置。これに伴い、トヨタ・MS56VB型 救急自動車1台を、比田分駐所に配置
	7月25日	ヤマハ 折りたたみ式アルミ製船外機15馬力付 救助艇1艇を購入し、安来消防署に配置
	9月30日	日野・K-FD172AA型 56年式150馬力 消防用救助工作車(ウインチ・クレーン付)1台を購入し、安来消防署に配置
昭和57年	7月1日	安来市内9ヶ所に無線遠隔装置による防災用サイレンを設置

昭和57年11月30日	安来消防署庁舎増改築工事竣工 増築面積 16.50m ² 改造部分床面積 85.67m ²
昭和58年 3月31日	日産・キャラバン L-FHGE23型 58年式98馬力 救急自動車1台を購入し、広瀬出張所に配置。これに伴い、広瀬出張所配置のニッサン・キャラバンVE20型 救急自動車を、比田分駐所に配置
8月 9日	(財)日本消防協会から、トヨタ・L-YH71VB型 58年式105馬力 救急自動車1台の寄贈を受け、伯太出張所に配置。これに伴い、ニッサン・キャラバンVE20型 救急自動車1台を、安来消防署に配置
昭和61年12月10日	島根県共済農業共同組合連合から、日産・B-II型 61年式 救急自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置
昭和63年 3月17日	日産・サファリ M-FG161型 63年式125馬力 消防ポンプ自動車1台を購入し、広瀬出張所に配置(更新)
6月 7日	安来市役所から、トヨタ・マイクロバス K-LH40B型 56年式1台を譲り受け、安来消防署に配置
12月19日	日産・サファリ T-FGY60型 63年式140馬力 消防ポンプ自動車1台を購入し、伯太出張所に配置(更新)
平成 元年 8月 9日	(社)日本損害保険協会から、日野・D-FD172BA改型 元年式160馬力 吉谷式水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置
12月 6日	(財)日本防火協会から、いすゞ・ファーゴ バン型 元年式82馬力 消防広報車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置
平成 2年 2月26日	いすゞ4WD P-NKS58GN改型 元年式105馬力 消防ポンプ自動車1台を購入し、安来消防署に配置
10月24日	丸永建設(株)から、三菱・ミニキャブ 2年式38馬力 消防査察車2台の寄贈を受け、広瀬出張所、伯太出張所に配置(更新)
10月25日	安来消防署車庫増築工事竣工 建築面積 38.68m ² 鉄骨平屋建
平成 3年 3月22日	(社)日本損害保険協会から、トヨタ T-RZHS型 2年式100馬力 救急自動車1台の寄贈を受け、比田分駐所に配置(更新)
9月19日	日産・アベニール・カーゴ4WD R-VENW10改型 4年式97馬力 消防査察車1台を購入し、安来消防署に配置(更新)
12月16日	安来消防署倉庫増築工事竣工 建築面積 33.82m ² 鉄骨平屋建
平成 5年 1月22日	日産・サファリ T-FGY60型 5年式160馬力 消防ポンプ自動車1台を購入し、比田分駐所に配置(更新)

平成 5年	4月 1日	組合職員定数68名、4名を採用し、実員68名
	6月23日	トヨタ・ハイエーストラック4WD U-LH95改型 5年式85馬力 資機材搬送車1台を購入し、安来消防署に配置(更新)
	8月20日	(財)日本消防協会から、いすゞ・ファーゴ4WD U-WFS62FVH改5年式79馬力 救急自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置(更新)
	8月27日	三菱・ミニキャブ V-U42V改型 5年式42馬力 消防査察車1台を購入し、安来消防署に配置(更新)
平成 6年	4月 1日	組合職員定数71名、4名を採用し、実員71名 安来消防署伯太出張所農業集落排水事業供用開始
	5月24日	トヨタ・コロナ1600GX E-AT190改型 6年式115馬力 消防指揮車1台を購入し、安来消防署に配置(更新)
平成 7年	3月31日	庁舎北側市道新設に伴い、北側フェンス及び駐輪場を整備(17.3m ² 安来市分敷地増)
	11月 6日	(財)足立美術館から、トヨタ・ハイエース4WD KC-KZH138S型 7年式130馬力 救急自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置(更新)
	11月 7日	安来消防署配置のいすゞ・ファーゴ4WD U-WFS62FVH改型5年式79馬力 救急自動車と比田分駐所配置のニッサン・キャラバンVE20型 救急自動車を配置換え
	12月22日	島根県共済農業共同組合連合会から、日産・キャラバン KC-VRMGE24年改型 7年式85馬力 救急自動車1台の寄贈を受け、広瀬出張所に配置(更新)
平成 8年	1月18日	トヨタ・ハイエース4WD KC-KZH138S型 8年式130馬力 救急自動車1台を購入し、伯太出張所に配置(更新)
	4月 1日	組合職員定数72名、2名を採用し、実員72名
	8月 6日	境海上保安部と消防業務協定を締結
	10月31日	組合職員定数84名
平成 9年	2月14日	三菱・ふそうキャンター4WD KC-FG538D型 9年式130馬力 消防ポンプ自動車1台購入し、安来消防署に配置(更新)
	4月 1日	島根県防災航空隊へ職員1名派遣 組合職員3名を採用し、実員75名 島根県知事より地方分権、権限移譲事務に伴い高圧ガス保安法(立入検査)、液化石油ガスの保安の確保及び、取引の適正化に関する法律(工事の設置届)、火薬類取締法(譲渡、消費許可等)に基づく業務開始
	4月 8日	(財)さんそ山陰技術振興財団から、日立パソコン、キャノンプリンター、ソフト一式の寄贈を受ける
	5月15日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士1名誕生

平成 9年10月23日	第13回全国婦人消防操法大会（於：横浜市）に安来市吉田西婦人消防隊が出場し、敢闘賞を受賞
11月20日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士2名
平成10年 3月 2日	三菱ふそう・SUPER GREAT KC-FP515JX型 平成9年式310馬力 森田式30mはしご付消防自動車1台を購入し、安来消防署に配置
3月18日	鳥取県西部広域行政管理組合と山陰道（米子西～安来）における消防相互応援に関する協定を締結
3月27日	（財）さんそ山陰技術振興財団から、ドレーゲル化学防護服2着の寄贈を受ける
4月 1日	安来市能義郡医師会と災害時の医療救護活動に関する協定の締結 組合職員3名を採用し、実員78名 島根県知事より、権限移譲事務に伴い、高圧ガス保安法における製造施設等の許認可事務及び、液石法における充てん設備の許可事業業務開始
6月18日	安来ライオンズクラブから、救急訓練人形（レコーディングレサシアン成人用）1体の寄贈を受ける
7月21日	松江地区広域行政組合、木次町外9町村消防組合と携帯電話等からの転送に関する協定の締結 移動体通信からの119番通報受信の運用開始（デジタル携帯電話からの災害通報受信）
12月16日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士3名
平成11年 3月26日	（社）日本損害保険協会から、トヨタ・ハイメディック4WD GB-VCH38S型 高規格救急自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置
3月30日	境海上保安部と新消防業務協定を締結（水難救助活動の相互協定）
4月 1日	組合職員3名を採用し、実員81名
4月 9日	高規格救急自動車における救急救命処置業務運用開始
4月27日	日立金属（株）安来工場から、救急訓練人形（蘇生法教育人体モデルJAMYIRECO-N）3体、（蘇生法教育モデルJAMYII-I）2体の寄贈を受ける
7月 1日	ホンダ・BF15A BAAL型 15馬力 救助ボート用船外機1機を購入し、安来消防署に配置（更新）
9月28日	（社）日本損害保険協会から、ニッサン・ディーゼル KK-LK252EH改型 11年式206馬力 化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置（更新）
11月29日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士4名
平成12年 4月 1日	組合職員4名を採用し、実員84名
5月25日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士5名
5月31日	安来市役所から、トヨタ・マークII E-GX81型 元年式150馬力 事務連絡車1台を譲り受け、安来消防署に配置

平成12年12月 4日 救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士6名

平成13年 1月30日 (財)自治総合センター『宝くじ補助事業』の補助を受け、救急講習用訓練人形(蘇生法教育人体モデルJAMY II RECO-N)1体、(蘇生法教育人体モデルJAMY II-I)1体を購入

3月23日 松江市と山陰道(安来~東出雲間)消防相互応援協定を締結
日野4WD KK-GX1JGDA改型 12年式220馬力 消防救助工作車(ウインチ・クレーン付)1台を購入し、安来消防署に配置(更新)
アキレスマリン(株)・SE-400型 救助ボート1艇を購入し、安来消防署に配置

5月28日 丸永建設(株)から、トヨタ・カローラ4WD TA-NZE124G型 13年式115馬力 消防司令車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置(更新)

9月28日 (財)日本宝くじ協会から、マツダ・ボンゴ KG-SY54T型 13年式88馬力 消火・通報訓練指導車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置

10月 2日 安来ライオンズクラブから、トヨタ・ハイエース GE-RZH125B型 13年式 人員搬送車1台の寄贈を受け、安来消防署に配置(更新)

12月17日 松江市、安来市及び鳥取県西部広域行政管理組合と中海地区消防相互応援協定を締結

平成14年 4月 1日 島根県防災航空隊へ職員1名派遣
組合職員1名を採用し、実員83名

5月13日 救急救命士国家試験に2名合格、救急救命士8名

10月29日 トーハツ T66C型 15馬力C-1 小型動力ポンプ1台を購入し、伯太出張所に配置(更新)

平成15年 1月 9日 トヨタ・トヨエース4WD KK-LY280型 14年式91馬力 小型動力ポンプ付積載車1台、ラビットP555A型 58馬力B-2 小型動力ポンプ1台を購入し、安来消防署に配置

4月 1日 組合職員2名を採用し、実員83名

4月18日 救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士9名

8月26日 三菱・キャンター4WD KK-FG73ED型 15年式145馬力 消防ポンプ自動車1台を購入し、広瀬出張所に配置(更新)

11月19日 トヨタ・キャミー TA-J102E型 15年式90馬力 消防査察車1台を購入し、伯太出張所に配置(更新)

12月12日 三菱・キャンター4WD KK-FG73ED型 15年式145馬力 消防ポンプ自動車1台を購入し、伯太出張所に配置(更新)
これに伴い、伯太出張所に配置の旧消防ポンプ自動車1台を消防団に配置換え

平成16年 1月23日 (財)救急振興財団から、救急訓練人形(レサシアンモジュラーシステム

		スキルレポーターモデル成人用) 1体、(レサシアンベビー幼児用シグナルボックス付) 1体の寄贈を受ける
平成16年	4月 1日	組合職員2名を採用し、実員84名
	4月21日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士10名
	7月 6日	トヨタ・サクシード CBA-NCP58G型 16年式109馬力 消防査察車1台を購入し、安来消防署に配置(更新)
	10月 1日	安来市、広瀬町、伯太町1市2町が合併し、新生安来市となる 安来市能義郡消防組合を解散し安来市消防本部となる 安来消防署を改め安来市消防署に、広瀬出張所及び伯太出張所が分署に昇格する
	11月 1日	三菱・デボネア E-S11A型 3年式120馬力 旧伯太町公用車 1台を譲り受け、本署に配置
	12月 8日	トヨタ・ハイメディック TC-VCH38S型 16年式180馬力 高規格救急自動車1台を購入し、広瀬分署に配置(更新)。これに伴い、 広瀬分署配置の、日産・キャラバン KC-VRMGE24年改型 7 年式85馬力 救急自動車を、本署に配置 本署配置の、トヨタ・ハイエース4WD KC-KZH138S型 7 年式130馬力 救急自動車1台を、安来市立病院へ譲渡
平成17年	2月22日	本署配置の、いすゞ・P-NKS58GN改型 元年式105馬力 消 防ポンプ自動車1台を、比田分駐所に配置
	4月 1日	職員2名を採用し、実員84名
	4月19日	救急救命士国家試験に2名合格、救急救命士12名
	12月 5日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士13名
	12月19日	日野・デュトロ4WD PD-XZU378M型 17年式150馬力 災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-1型(高圧噴霧装置付)1台を購 入し、本署に配置(更新)。これに伴い、本署配置の、いすゞ・P-N KS58GN型 元年式105馬力 消防ポンプ自動車を、比田分駐所 に配置 比田分駐所配置の、日産・サファリ T-FGY60型 5年式160 馬力 消防ポンプ自動車を、消防団に配置換え
平成18年	1月19日	トヨタ・ハイメディック4WD TC-VCH38S型 17年式18 0馬力 高規格救急自動車1台を購入し、伯太分署に配置(更新)。こ れに伴い、伯太分署配置の、トヨタ・ハイエース4WD KC-KZH 138S型 8年式130馬力 救急自動車を、比田分駐所に配置。
	4月 1日	職員3名を採用し、実員83名
平成19年	4月 1日	職員7名を採用し、実員84名 機構改革により、1本部3課制から1本部4課制とする
	5月17日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士15名
	6月 6日	安来市から、ホンダ・E-EL3型 10年式145馬力 防災車1台

		を譲り受け、本署に配置
	7月30日	仲佐久子氏から、日産・エルグランド4WD CBA-MNE51型 19年式137馬力 救急講習車1台、資機材一式の寄贈を受け、本署 に配置
	11月20日	トヨタ・ハイエース4WD CBF-TRH226S型 19年式15 1馬力 災害対応特殊救急自動車1台を購入し、本署に配置
平成20年	4月 1日	島根県防災航空隊へ1名派遣 職員3名を採用し、実員83名
平成21年	3月25日	(財)さんそ山陰技術振興財団から、高圧ガス災害処理資器材高圧用空気 呼吸器3基の寄贈を受ける
	4月 1日	職員7名を採用し、実員85名
	5月29日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士17名
	6月30日	三菱・パジェロ4WD CBA-V93W型 21年式178馬力 災 害対応指揮車1台を購入し、本署に配置 (更新)
	6月30日	日産・エクストレイル4WD DBA-NT31型 21年式109馬 力 消防司令車1台を購入し、本署に配置 (更新)。これに伴い、本署 配置のトヨタ・カローラ4WD TA-NZE124G型 13年式 115馬力 消防司令車を、消防査察車として広瀬分署に配置
	10月30日	トヨタ・エスティマH/B電気式4WD DAA-AHR20W型 2 1年式190馬力 事務連絡車1台を購入し、本署に配置 (更新)
平成22年	3月 1日	携帯・IP発信地位置情報表示システムを導入し、運用開始
	3月31日	日野・BDG-GD7JGWA改型 21年式220馬力 水槽付消防 ポンプ自動車1台を購入し、本署に配置 (更新)
	4月 1日	機構改革により、1本部4課制から1本部3課制とする 島根県防災航空隊へ1名派遣 職員5名を採用し、実員87名
	4月20日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士19名
	9月17日	丸永建設(株)から、AEDリトルアントレーニングシステム4式及び、 血中酸素飽和度測定器6器の寄贈を受ける
	12月 7日	本署配置の、日産・エクストレイル4WD DBA-NT31型 21 年式109馬力 消防司令車を、広瀬分署配置のトヨタ・カローラ4 WD TA-NZE124G型 13年式115馬力 消防査察車と 配置換え
	12月14日	アキレスマリン(株)・FRB-380型 救助ボート1艇を購入し、本署 に配置
平成23年	1月17日	日野4WD BDG-XZU378M型 23年式 消防ポンプ自動 車1台を購入し、比田分駐所に配置 (更新)
	2月21日	(財)日本消防協会から、三菱・パジェロ4WD DBA-V93W型 23年式178馬力 1台の寄贈を受け、団本部に配置

	4月 1日	職員3名を採用し、実員87名
	4月19日	救急救命士国家試験に2名合格、救急救命士21名
	12月12日	トヨタ・ハイエース4WD CBF-TRH226S型 23年式 高規格救急自動車1台を購入し、本署に配置 トヨタ・ハイエース寒冷地仕様4WD CBF-TRH226S型 23年式 救急自動車1台を購入し、比田分駐所に配置
平成24年	3月14日	松江市、安来市及び鳥取県西部広域行政管理組合と中海地区消防相互応援協定を改正し、施行(平成13年12月17日締結の旧協定は廃止) 鳥取県西部広域行政管理組合と、山陰道(米子西～安来)における消防相互応援に関する協定を改正し、施行(平成10年3月18日締結の旧協定は廃止) 松江市と山陰道(安来～東出雲間)消防相互応援協定を改正し、施行(平成13年3月23日締結の旧協定は廃止)
	4月 1日	機構改革により、1本部3課制から1本部3課1室制とする 職員6名を採用し、実員87名
	4月16日	救急救命士国家試験に2名合格、救急救命士23名
	10月 3日	やすぎ農業協同組合から、除染テント、エアウェイスコープの寄贈を受ける
平成25年	4月 1日	島根県防災航空隊へ1名派遣 職員4名を採用し、実員90名
	10月 2日	消防新庁舎起工式
平成26年	3月20日	いすゞ・TDG-NMS85AN型 26年式150馬力 消防ポンプ自動車1台を購入し、本署に配置(更新)
	3月31日	救急救命士国家試験に2名合格、救急救命士25名
	4月 1日	職員5名を採用し、実員87名
平成27年	2月12日	消防新庁舎の竣工式を挙行 所在地 島根県安来市飯島町711番地1 庁舎敷地面積 12,057.27㎡ 建築面積 2,248.49㎡ 建築延面積 4,230.30㎡
	2月19日	消防新庁舎、消防署業務を運用開始 消防救急デジタル無線(活動波)を運用開始
	3月24日	広瀬分署川平無線中継所を廃止する
	3月31日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士26名
	4月 1日	消防新庁舎運用開始 機構改革により、1本部3課1室制から1本部4課制とする 安来市消防本部及び消防署の設置を、安来市飯島町711番地1に改める 職員定数を93名とする

		職員3名を採用し、実員89名
	11月30日	いすゞ・TKG-NMS85AN型 27年式150馬力 資機材搬送車1台を購入し、本署に配置
	12月 9日	(財)日本消防協会から、日産・HBD-DR17V型 27年式消防団広報車1台の寄贈を受け、本署に配置
平成28年	3月31日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士27名
	4月 1日	島根県防災航空隊へ1名派遣
		職員6名を採用し、実員91名
	7月11日	アキレス・RJB-380 救命ボート1隻を購入し、本署に配置
	7月25日	SUZUKI・DF15A 船外機1台を購入し、本署に配置
	12月 1日	平成29年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を、松江市、安来市会場で開催することにより、警防課に合同訓練準備係を配置
	12月19日	トヨタ・ハイエース4WD CBF-TRH226S型 28年式高規格救急自動車1台を購入し、本署に配置
平成29年	3月31日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士26名
	4月 1日	職員2名を採用し、職員89名
	10月20日	平成29年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を安来市、松江市で開催
	21日	
	12月18日	トヨタ・ハイエース4WD CBF-TRH226S型 29年式高規格救急自動車1台を購入し、広瀬分署に配置
平成30年	3月31日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士27名
	4月 1日	職員2名を採用し、職員89名
平成31年	3月15日	トヨタ・ハイエース4WD CBF-TRH226K型 31年式指揮車1台を購入し、本署に配置
	3月31日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士29名
	4月 1日	公表制度開始
		島根県防災航空隊へ1名派遣
		職員4名を採用し、職員90名
令和 元年	11月25日	日野 2DG-FE2ABA型 令和元年式 13mブーム付多目的消防ポンプ自動車を購入し、本署に配置
令和 2年	3月31日	救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士31名
	4月 1日	令和2年度第64回島根県消防操法大会を安来市で開催することにより警防課に企画係を配置
		島根県消防学校へ1名派遣
		職員2名を採用し、職員89名
	12月17日	トヨタ・ハイエース4WD 3BF-TRH226S型 令和2年式高規格救急自動車1台を購入し、伯太分署に配置
令和 3年	4月 1日	職員2名を採用し、職員91名
		救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士33名

		3月14日	日野 2KG-XZU685M型 令和4年式 消防ポンプ自動車を 購入し、広瀬分署に配置
令和 4年	4月 1日	職員2名を採用し、職員91名 救急救命士国家試験に1名合格、救急救命士34名 島根県防災航空隊へ1名派遣	
令和 5年	2月14日	高機能消防指令システム部分更新システム切替	
	4月 1日	職員1名を採用し、職員90名 職員定数を110名とする	

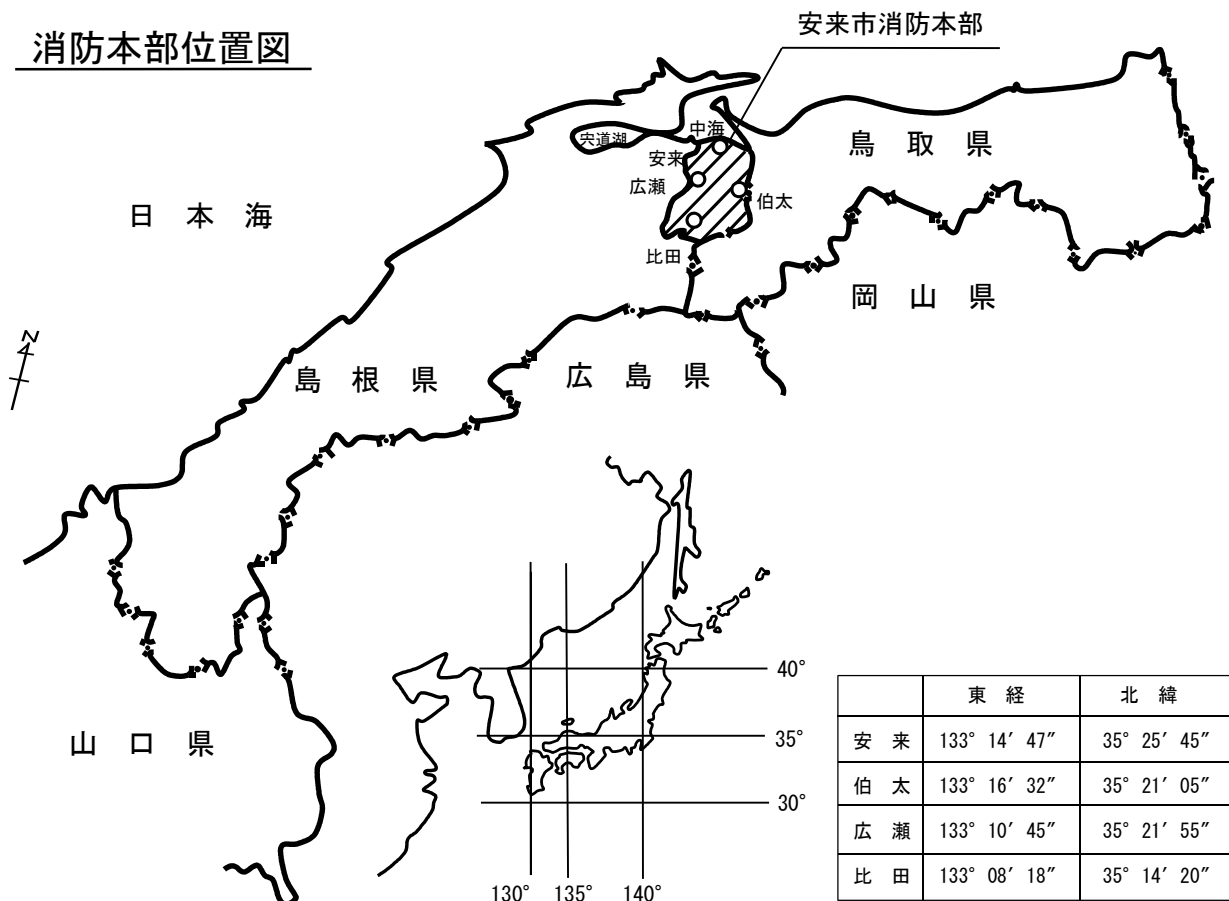
安来市の概況

安来市は、島根県の東部、鳥取県との県境で中海圏域のほぼ中央に位置し、山、川、平野、海のすべてをもつ自然環境に恵まれた地域です。また、数多くの神話や伝説の舞台として歴史的、文化的にも高い価値をもっており、神代の昔、スサノオノミコトがこの地方に国境を創って歩かれたとき、この地に来られ「吾が御心は安平（やす）けくなりぬ」といわれたことから「安来（やすぎ）」というようになったと伝えられています。（出雲国風土記から）

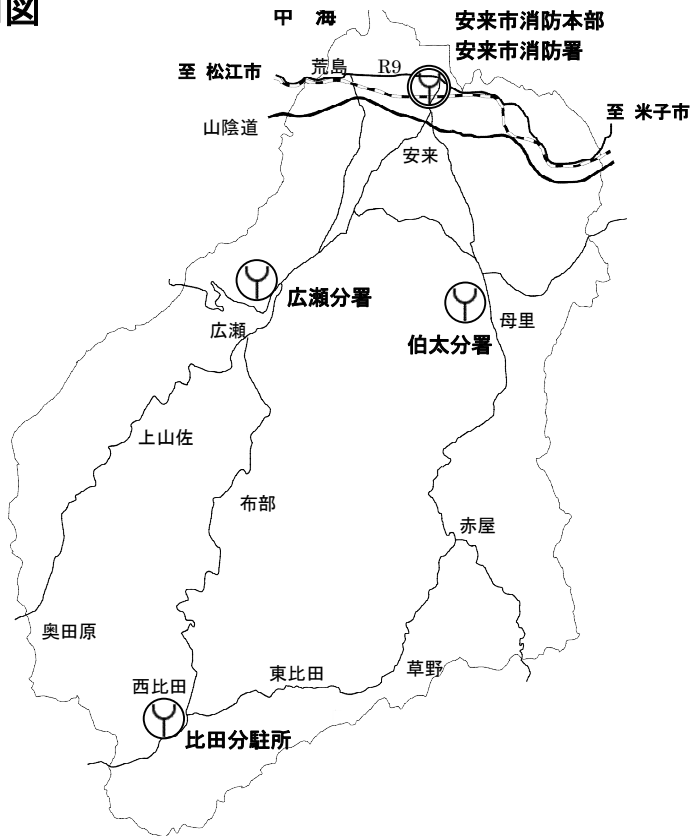
交通網は、JR山陰本線が東西に走り、西へ約30kmの地点に出雲縁結び空港、北に10kmの地点に米子鬼太郎空港があります。そのほか、高規格道路である安来道路が東西に走り、山陰自動車道の一部として機能しています。さらに東西に国道9号線、南北に国道432号、主要地方道安来木次線、主要地方道安来伯太日南線などの幹線道路網でネットワークされています。

当地域は、日本を代表する民謡のひとつ「安来節」発祥の地であり、出雲國たたら風土記として日本遺産に認定されました。かつてはたたら製鉄の積出港として栄え、現在も世界をマーケットとするヤスキハガネの生産地です。また、米国雑誌が選んだ日本一の日本庭園を有する足立美術館、戦国時代に名を馳せた「尼子氏」などの遺跡や史跡、その他重要文化財である寺社や温泉などの優れた資源を有します。

消防本部位置図



安来市消防本部管内図



機 材 配 置 表

(令和5年4月1日現在)

署所別	安来市消防署	広瀬分署	伯太分署	比田分駐所
指揮隊車	1			
司令車	1			
査察車	1	1	1	
高規格救急車	3	1	1	1
消防ポンプ車	3	1	1	1
水槽付ポンプ車	1			
化学車	1			
救助工作車	1			
資機材搬送車	1			
作業車	1			
救助艇	1			
小型動力ポンプ	1	1	1	1
人員搬送車	1			
消火通報訓練指導車	1			
事務連絡車	1			
小型動力ポンプ付積載車	1			
救急講習車	1			

総務

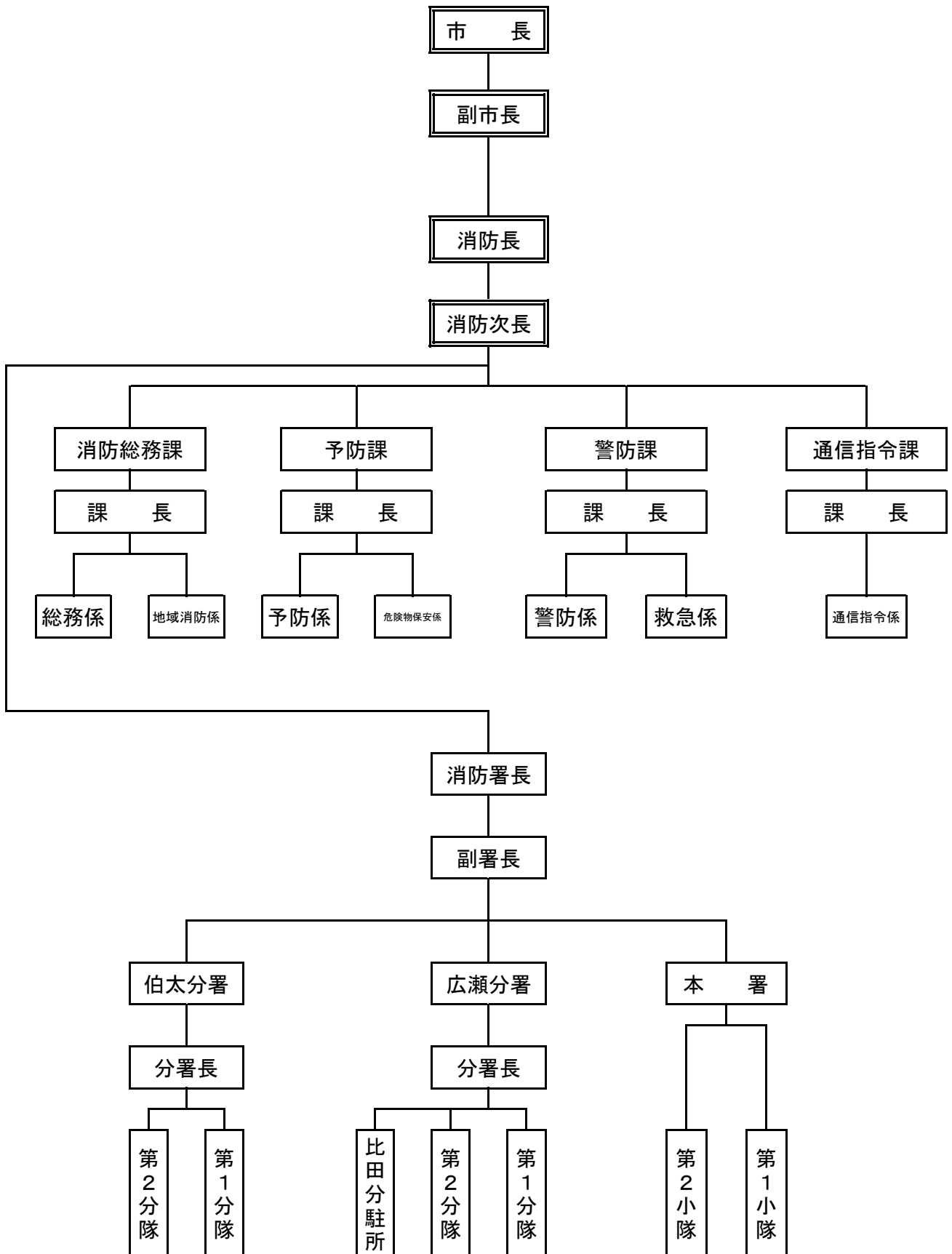


中学生職場体験学習

市面積・人口及び世帯数				
(令和5年3月31日現在)				
面積	人 口			世 帯 数
	男	女	計	
420.93km ²	17,394人	18,744人	36,138人	14,220世帯

安来市消防本部の組織機構

(令和5年4月1日現在)



事 務 分 掌 (消防本部)

(令和5年4月1日現在)

消防総務課

総務

- 1 人事及び組織に関すること。
- 2 消防関係条例、規則及び規程に関すること。
- 3 公印の管守に関すること。
- 4 文書管理に関すること。
- 5 職員の表彰儀式に関すること。
- 6 消防情報、広報及び消防沿革に関すること。
- 7 給与、服務その他勤務条件に関すること。
- 8 職員の教養及び研修に関すること。
- 9 福利厚生及び保健衛生に関すること。
- 10 公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。
- 11 予算、決算及び物品に関すること。
- 12 所管財産の総括管理に関すること。
- 13 庁舎の維持管理及び営繕に関すること。
- 14 職員の被服及び庁用燃料に関すること。
- 15 他課及び課内他担当に属さないこと。

地域消防

- 1 消防団員の教養及び訓練に関すること。
- 2 消防団員の被服に関すること。
- 3 消防団員の福利厚生に関すること。
- 4 消防団員の公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。
- 5 消防団員の表彰儀式に関すること。
- 6 消防団の消防車及び資機材に関すること。
- 7 消防団の施設に関すること。
- 8 消防団の燃料に関すること。
- 9 消防団の経理に関すること。
- 10 その他消防団に関すること。

予 防 課

予防

- 1 火災予防の普及に関すること。
- 2 防火対象物の査察に関すること。
- 3 建築確認等の同意に関すること。
- 4 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- 5 防火管理者の資格講習及び指導に関すること。
- 6 予防関係各種届出に関すること。
- 7 予防技術の調査研究に関すること。
- 8 自主防災組織に関すること。
- 9 課内他担当に属さないこと。

危険物保安

- 1 危険物、少量危険物及び指定可燃物（以下『危険物等』という。）の規制に関する
こと。
- 2 危険物等施設の査察に関すること。
- 3 危険物取扱者の指導に関すること。
- 4 危険物等の防災技術の調査研究に関すること。
- 5 危険物保安協会に関すること。
- 6 圧縮アセチレンガス、液化石油ガス及び火薬類等の指導に関すること。
- 7 高圧ガス保安法に関すること。（知事の権限に属する事務のうち市が処理すること
とされた事務）
- 8 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に関すること。（知事の
権限に属する事務のうち市が処理することとされた事務）
- 9 火薬類取締法に関すること。（知事の権限に属する事務のうち市が処理することと
された事務）

警 防 課

警防

- 1 警防計画及び災害防ぎよに関すること。
- 2 消防資機材、消防施設（庁舎を除く）の配置、整備計画に関すること。
- 3 消防相互応援協定に関すること。
- 4 火災調査等及び統計並び報告に関すること。
- 5 罹災証明に関すること。
- 6 消防訓練の指導に関すること。
- 7 消防水利の整備、指導、維持管理に関すること。
- 8 消防救助の実施に関すること。
- 9 課内他担当に属さないこと。

救急

- 1 救急業務の実施に関すること。
- 2 医療機関等との連絡調整に関すること。
- 3 救急関係統計及び報告に関すること。
- 4 救急証明に関すること。
- 5 救急技術の調査研究、指導及び普及啓発に関すること。
- 6 松江・安来地区メディカルコントロール協議会に関すること。
- 7 安来市救急業務連絡協議会に関すること。

通信指令課

通信指令

- 1 緊急通報の受報、情報伝達、災害情報の収集、記録及び指令に関すること。
- 2 災害出動体制の計画及び車両動態の管理に関すること。
- 3 消防通信の統制及び運用に関すること。
- 4 非常招集に関すること。
- 5 気象情報及び火災警報に関すること。
- 6 通信機器の維持管理及び整備に関すること。
- 7 その他通信指令業務に関すること。

事 務 分 掌 (消防署)

(令和5年4月1日現在)

安 来 市 消 防 署 (本署)

第1小隊、第2小隊

- 1 火災予防の普及及び査察に関する事。
- 2 火災予防条例の届出及び規制に関する事。
- 3 火災その他の災害の警戒、防ぎよに関する事。
- 4 救急救助活動に関する事。
- 5 その他災害の情報収集及び記録に関する事。
- 6 消防訓練及び救急救助訓練に関する事。
- 7 消防用車両、機械器具の管理及び運用に関する事。
- 8 消防地水利に関する事。
- 9 火災調査等に関する事。
- 10 署の庶務に関する事。
- 11 消防本部各課の兼務事務に関する事。
- 12 その他消防署の業務に関する事。

広瀬分署、伯太分署

- 1 火災予防の普及及び査察に関する事。
- 2 火災予防条例の届出及び規制に関する事。
- 3 火災その他の災害の警戒、防ぎよに関する事。
- 4 救急救助活動に関する事。
- 5 その他災害の情報収集及び記録に関する事。
- 6 消防訓練及び救急救助訓練に関する事。
- 7 消防用車両、機械器具の管理及び運用に関する事。
- 8 消防地水利に関する事。
- 9 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 10 分署の庶務に関する事。
- 11 消防団に関する事。
- 12 その他消防署の業務に関する事。

比田分駐所

- 1 火災予防の普及及び査察に関する事。
- 2 火災予防条例の届出及び規制に関する事。
- 3 火災その他の災害の警戒、防ぎよに関する事。
- 4 救急救助活動に関する事。
- 5 その他災害の情報収集及び記録に関する事。
- 6 消防訓練及び救急救助訓練に関する事。
- 7 消防用車両、機械器具の管理及び運用に関する事。
- 8 消防地水利に関する事。
- 9 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 10 消防団に関する事。

歴代消防長

(過去10代)

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
三 德 伸 吉	平成21年 4月 1日	平成23年 3月31日	在職 2年
永 田 裕 司	平成23年 4月 1日	平成24年 3月31日	在職 1年
北 尾 正 博	平成24年 4月 1日	平成26年 3月31日	在職 2年
原 政 男	平成26年 4月 1日	平成27年 3月31日	在職 1年
細 田 誠	平成27年 4月 1日	平成28年 3月31日	在職 1年
池 田 志 信	平成28年 4月 1日	平成29年 3月31日	在職 1年
島 田 均	平成29年 4月 1日	平成30年 3月31日	在職 1年
長谷川 広	平成30年 4月 1日	令和 2年 3月31日	在職 2年
三 島 俊 輔	令和 2年 4月 1日	令和 4年 3月31日	在職 2年
青 戸 博 司	令和 4年 4月 1日	現在に至る	

歴代消防次長

(過去10代)

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
北 尾 正 博	平成23年 4月 1日	平成24年 3月31日	在職 1年
富 川 勇 一	平成24年 4月 1日	平成26年 3月31日	在職 2年
細 田 誠	平成26年 4月 1日	平成27年 3月31日	在職 1年
池 田 志 信	平成27年 4月 1日	平成28年 3月31日	在職 1年
生 和 隆 志	平成28年 4月 1日	平成29年 3月31日	在職 1年
長谷川 広	平成29年 4月 1日	平成30年 3月31日	在職 1年
遠 藤 泰 史	平成30年 4月 1日	平成31年 3月31日	在職 1年
三 島 俊 輔	平成31年 4月 1日	令和 2年 3月31日	在職 1年
西 村 聡 志	令和 2年 4月 1日	令和 4年 3月31日	在職 2年
平 井 稔 久	令和 4年 4月 1日	現在に至る	

歴代消防署長

(過去10代)

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
角 森 泰 樹	平成17年 4月 1日	平成19年 3月31日	在職 2年
佐 川 裕 通	平成19年 4月 1日	平成21年 3月31日	在職 2年
永 田 裕 司	平成21年 4月 1日	平成23年 3月31日	在職 2年
角 森 正 弘	平成23年 4月 1日	平成26年 3月31日	在職 3年
池 田 志 信	平成26年 4月 1日	平成27年 3月31日	在職 1年
生 和 隆 志	平成27年 4月 1日	平成28年 3月31日	在職 1年
島 田 均	平成28年 4月 1日	平成29年 3月31日	在職 1年
三 島 俊 輔	平成29年 4月 1日	平成31年 3月31日	在職 2年
青 戸 博 司	平成31年 4月 1日	令和 4年 3月31日	在職 3年
内 藤 正 美	令和 4年 4月 1日	現在に至る	

職 員 の 定 数 と 実 員

(令和5年4月1日現在)

区分別		階級別	計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
定 員			110	階 級 別 定 数 規 定 な し						
実 員			90	1	5	5	36	17	13	13
消 防 本 部	消 防 長		1	1						
	次 長		1		1					
	消 防 総 務 課		5(1)		(1)	1	3			1
	予 防 課		5		1	1	3			
	警 防 課		4(1)		1	(1)	2			1
	通 信 指 令 課		9		1		2	4	2	
	小 計		22	1	4	2(1)	10	4	2	2
消 防 署	署 長		7		1					
	本 署		32			1	13	6	6	6
	広 瀬 分 署		13			1	6	2	2	2
	伯 太 分 署		13			1	4	4	2	2
	比 田 分 駐 所		5				2	1	1	1
	小 計		70		1	3	25	13	11	11
島根県消防学校職員派遣										
島根県防災航空隊派遣			1				1			

() 次長：消防総務課兼務
本署消防指令：警防課兼務

条 例 定 数 と 実 員 の 推 移

年 別	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	令和4	令和5
条例定数	84	84	84	84	84	84	93	93	93	93	93	93	93	93	110
実 員	85	87	87	87	90	87	89	91	89	89	90	89	91	91	90

職 員 の 年 齢 構 成

(令和5年4月1日現在)

階 級 別 年 齢 別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
	20 歳未満							2
20 ~ 25							10	10
26 ~ 30					1	13	1	15
31 ~ 35					16			16
36 ~ 40				15				15
41 ~ 45				13				13
46 ~ 50		1	5	8				14
51 ~ 55		4						4
56 歳以上	1							1
計	1	5	5	36	17	13	13	90
平 均	59.0	53.0	48.4	41.5	32.8	27.5	22.5	36.3

職 員 の 研 修 状 況

(過去10年)

教 科 別	年 度 別											計	
	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	令和4			
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科							1					1
	幹 部 科			1	1								2
	警 防 科			1		1	1						3
	救 急 科										1		1
	予 防 科							1					1
	危 険 物 科	1			1	1							3
	違 反 是 正 研 修	1	1										2
島 根 県 消 防 大 学 校	火 災 調 査 科								1				1
	初 任 科	4											4
	初 任 総 合 教 育		5	3	6	2	2	4	2	2	2		28
	上 級 幹 部 科		1						1				2
	中 級 幹 部 科	1	1				1				1		4
	初 級 幹 部 科		2	1	1	1	1	1	1	1	1		10
	火 災 調 査 科		2		1		1		1				5
	救 急 標 準 科	4											4
	救 助 科	1		1		1		1		1			5
	警 防 科	1		1		1	1	1	1	1	1		8
	予 防 査 察 科		1						1			1	3
	危 険 物 科	1		1									2
	予 防 科					1	1	1	1	1	1		6
	特 殊 災 害 科		1										1
幹 部 特 別		1	1	1	1	2	2	2	2	1		13	
警 防 特 別			2			1	1		1	1	1	7	
通 信 特 別							1		1			2	
予 防 特 別			1		1	1	1	1	1	1	1	7	
指 導 救 命 士 養 成 研 修		1		1	1	1					1	5	
救 急 救 命 士 養 成 研 修	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1		10	
計	16	17	14	13	13	14	15	14	12	12		140	

職 員 の 勤 続 年 数

(令和5年4月1日現在)

区分別 勤続年数別	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
1年未満							1	1
1年							2	2
2年							2	2
3年							2	2
4年						1	3	4
5年						1	1	2
6年							2	2
7年					1	5		6
8年					1	1		2
9年					1	3		4
10年					2	2		4
11年				1	4			5
12年					2			2
13年				1	4			5
14年			2	2	1			5
15年				3				3
16年				3	1			4
17年				2				2
18年				2				2
19年				2				2
20年				2				2
21年				1				1
22年								
23年				4				4
24年				3				3
25年				3				3
26年				3				3
27年				2				2
28年								
29年			1	2				3
30年		3	1					4
31年		1	1					2
32年								
33年		1						1
34年								
35年								
36年	1							1
37年								
38年								
39年								
40年								
41年								
計	1	5	5	36	17	13	13	90

職 員 の 資 格 取 得 状 況

(令和5年4月1日現在)

免 許 種 別		階 級 別	計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	1 種	53		5	4	31	10	3	
	中	型	27	1		1	5	7	10	3
危 険 物 取 扱 者 免 許		乙 種	71		2	5	27	16	12	9
		丙 種	13	1	4	1	7			
第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士			19	1	3	2	13			
第 3 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士			70		2	3	23	17	13	12
消 防 設 備 士		甲 種	1				1			
		乙 種	28	1	1	3	22	1		
救 急 救 命 士			33	1	3	1	15	5	4	4
小 型 船 舶		1 級	1			1				
		2 級	31		1	2	18	6	4	
玉 掛 技 能			69		2	1	29	14	13	10
ク レ ー ン 技 能			42		2	1	30	8	1	
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者			13			1	12			
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 責 任 者			18		1	1	15	1		
予 防 技 術 検 定			17		1	2	11	2	1	

例 規 整 備

(令和4年中)

令和4年3月23日 ・安来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
令和4年4月1日 ・安来市非常勤消防団員等に係る損害補償の支給等に関する規則の一部を改正する規則 ・安来市消防団員等公務災害補償条例第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則の一部を改正する規則
令和4年10月1日 ・安来市消防団条例の一部を改正する条例 ・安来市消防団規則の一部を改正する規則

予 防



女性防火クラブ防災研修会(WEB 研修)

	安 来	広 瀬	伯 太	合 計
防火対象物棟数	971	214	109	1,294
法第8条対象物	234	62	33	329
危険物施設数	149	14	9	172

建築同意処理件数

(令和4年度中)

項別	防火対象物	地域別		合計		安来		広瀬		伯太	
1	イ 劇場、映画館、観覧場等	0	0								
	ロ 公会堂、集会場	0	0								
2	イ キャバレー、カフェー等	0	0								
	ロ 遊技場、ダンスホール	0	0								
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0	0								
	ニ カラオケボックス、個室型店舗等	0	0								
3	イ 待合、料理店等	0	0								
	ロ 飲食店	1	0	1							
4	百貨店、マーケット、物品販売店舗等	1	0	1							
5	イ 旅館、ホテル等	0	0								
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	0	0								
6	イ 病院、診療所、助産所	5	0	5							
	ロ 養護老人ホーム、有料老人ホーム等	0	0								
	ハ 老人デイサービスセンター等	1	0	1							
	ニ 幼稚園、特別支援学校	1	0	1							
7	小学校、中学校、高等学校等	1	0	1							
8	図書館、美術館、博物館等	0	0								
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	0	0								
	ロ イ以外の公衆浴場	0	0								
10	車両の停車場等	0	0								
11	神社、寺院、教会等	0	0								
12	イ 工場、作業場	1	0					1			
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0								
13	イ 自動車車庫、駐車場	0	0								
	ロ 飛行機等格納庫	0	0								
14	倉庫	7	0	7							
15	前各項に該当しない事業場	4	0	1			3				
16	イ 複合用途防火対象物(特定用途を含むもの)	0	0								
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	0	0								
16の2	地下街	0	0								
16の3	準地下街	0	0								
17	重要文化財等	0	0								
18	延長50m以上のアーケード	0	0								
19	市町村長の指定する山林	0	0								
20	総務省令で定める舟車	0	0								
その他		22	(76)	22	(69)			(7)			
合 計		44	(76)	40	(69)	4	(7)	0	0		

※1「その他」は一般住宅等の同意件数

※2 ()内は建築等通知数

防火対象物の現況(150㎡以上)

(令和5年4月1日現在)

区 分 別		合計	安来	広瀬	伯太
		防棟 火対 象物 数	防棟 火対 象物 数	防棟 火対 象物 数	防棟 火対 象物 数
項 別					
1	イ 劇場、映画館、観覧場等	3	2	1	
	ロ 公会堂、集会場	43	24	15	4
2	イ キャバレー、カフェー等	0			
	ロ 遊技場、ダンスホール	3	3		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0			
	ニ カラオケボックス、個室型店舗等	0			
3	イ 待合、料理店等	2	2		
	ロ 飲食店	36	31	1	4
4	百貨店、マーケット、物品販売店舗等	64	57	6	1
5	イ 旅館、ホテル等	12	10	1	1
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	136	114	20	2
6	イ 病院、診療所等	19	15	1	3
	ロ 老人短期入所施設、特定養護老人ホーム等	21	10	8	3
	ハ 老人デイサービスセンター、認定こども園等	48	33	12	3
	ニ 幼稚園、特別支援学校	6	6		
7	小学校、中学校、高等学校等	59	32	16	11
8	図書館、美術館、博物館等	11	7	4	
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	0			
	ロ イ以外の公衆浴場	2		2	
10	車両の停車場等	0			
11	神社、寺院、教会等	24	17	5	2
12	イ 工場、作業場	228	181	25	22
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0			
13	イ 自動車車庫、駐車場	17	9	7	1
	ロ 飛行機等格納庫	0			
14	倉庫	150	118	18	14
15	前各項に該当しない事業場	209	157	35	17
16	イ 複合用途防火対象物(特定用途を含むもの)	112	74	21	17
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	84	65	15	4
16の2	地下街	0			
16の3	準地下街	0			
17	重要文化財等	5	4	1	
18	延長50m以上のアーケード	0			
19	市町村長の指定する山林	0			
20	総務省令で定める舟車	0			
合 計		1,294	971	214	109

： 特定用途防火対象物

各種届出件数

(令和4年度中)

種別	地域別	合計	安来	広瀬	伯太
防火対象物使用開始届		21	17	4	
消 防 計 画		112	72	23	17
防火管理者選(解)任届		80	51	17	12
炉、厨房設備、ボイラー等設置届		10	8	2	
発電、変電、蓄電池設備設置届		12	9	2	1
水素ガスを充填する気球の設置届		0			
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出		1,749	1,348	262	139
煙火打上げ仕掛届		2		2	
催物開催届		1	1		
水道断(減)水届		0			
露店開設届出書		13	10		3
道路工事占有届		143	102	28	13
少量危険物等貯蔵取扱(廃止)届		21	17	3	1
圧縮アセチレンガス液化石油ガス貯蔵取扱の開始(廃止)届		9	6	1	2
合 計		2,173	1,641	344	188

立入検査等件数

(令和4年度中)

種別	地域別	合計	安来	広瀬	伯太
危険物施設		86	72	9	5
防火対象物	特定	73	46	17	10
	非特定	101	91	9	1
一般住宅査察		0			
一人暮らし老人家庭査察		0			
防火映画・防火座談会等		1	1		
自衛消防訓練指導		65	41	15	9
禁止行為解除承認申請書		6	9		
屋外パトロール (年末特別警戒、強風による特別警戒)		27	10	10	7
合 計		362	270	60	32

防火クラブ結成状況

1. 幼年消防クラブ

(令和5年4月1日現在)

ク ラ ブ 名 称	結成年月日	クラブ員数
みゆきこども園幼年消防クラブ	昭和63年12月21日	120名
ふたばこども園幼年消防クラブ	昭和63年12月25日	125名
やすぎこども園幼年消防クラブ	平成22年4月1日	66名
あかえこども園幼年消防クラブ	平成元年2月25日	71名
認定こども園赤屋幼年消防クラブ	平成5年4月1日	13名
認定こども園井尻幼年消防クラブ	平成5年4月1日	5名
認定こども園母里幼年消防クラブ	平成5年4月1日	41名
認定こども園安田幼年消防クラブ	平成5年4月1日	50名
切川保育所幼年消防クラブ	平成8年4月1日	48名
認定こども園大塚幼年消防クラブ	平成24年4月1日	48名
認定こども園広瀬幼年消防クラブ	平成24年4月1日	29名
認定こども園荒島幼年消防クラブ	平成24年4月1日	58名
認定こども園ひろせ保育園幼年消防クラブ	平成26年4月1日	88名
合 計	13団体	762名

2. 少年消防クラブ

ク ラ ブ 名 称	結成年月日	クラブ員数
新 町 少 年 消 防 ク ラ ブ	平成11年8月1日	9名
合 計	1団体	9名

3. 女性防火クラブ

ク ラ ブ 名 称	結成年月日	クラブ員数
神 塚 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	昭和63年10月8日	19名
神 庭 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	平成元年4月1日	4名
吉 田 西 女 性 防 火 ク ラ ブ	平成4年11月1日	40名
合 計	3団体	63名

合 計 17団体 834名

危険物関係事務処理件数

(令和4年度中)

製造所等の別 許可、届出等の別		合計	貯蔵所							取扱所			
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	移送取扱所
許 可	設置	4	4					1	3				
	変更	36	1	1						35	4		31
	常置場所の変更	0											
完 成 検 査	設置	5	4					1	3	1	1		
	変更	33	1	1						32	4		28
	他許可行政庁から転入	0											
液体危険物タンク完成検査前検査		0											
廃止届		8	3			2			1	5	1		4
完成検査前設置許可の取り消し処分		0											
譲渡引渡届		0											
仮使用承認		31	1	1						30	2		28
軽微な変更届		40	1	1						39	11		28
種類数量変更届		0											
危険物保安監督者選解任届		20	7	4	2			1		13	3		10
設置者等の氏名名称、所在地名地番号等の変更届		15	8	5		3				7	1		6
予防規程制定・変更認可申請		4								4	4		
給油取扱所予防規程変更届		4								4	4		
小計		200	27	12	3	5		7		170	35		135
仮貯蔵・仮取扱の承認		5											
合計		205											

地域別危険物施設数

(完成検査済証交付施設)

(令和5年3月31日現在)

製造所等の別		地域別		計	安来	広瀬	伯太
貯蔵	屋内貯蔵所			23	23		
	屋外タンク貯蔵所			23	22	1	
	屋内タンク貯蔵所			1	1		
	地下タンク貯蔵所			35	23	7	5
	簡易タンク貯蔵所			1	1		
	移動タンク貯蔵所			16	15	1	
	屋外貯蔵所			3	3		
所	小計			102	88	9	5
取扱所	給油取扱所			23	18	2	3
	移送取扱所			1	1		
	一般取扱所			46	42	3	1
	小計			70	61	5	4
合	計			172	149	14	9

危険物数量別施設数

(完成検査済証交付施設)

(令和5年3月31日現在)

製造所等の別		数量別		計	5倍以下	5倍を 超え10 倍以下	10	50	100	150	200
							50	100	150	200	1,000
貯蔵	屋内貯蔵所			23	14	8	1				
	屋外タンク貯蔵所			23	3	4	5	4	1	2	4
	屋内タンク貯蔵所			1		1					
	地下タンク貯蔵所			35	24	4	4	3			
	簡易タンク貯蔵所			1	1						
	移動タンク貯蔵所			16	14		2				
	屋外貯蔵所			3	1	2					
所	小計			102	57	19	12	7	1	2	4
取扱所	給油取扱所			23	2	3	6	1	4	3	4
	移送取扱所			1							1
	一般取扱所			46	9	13	21	3			
	小計			70	11	16	27	4	4	3	5
合	計			172	68	35	39	11	5	5	9

火薬類取締法等事務処理件数

(令和4年度中)

内 容	内 訳	合計	安来	広瀬	伯太
火薬類 譲渡、譲受 消費等の許可	譲渡許可	0			
	譲受許可	0			
	譲受消費許可	4		2	2
	消費許可	0			
	消費許可（煙火）	5	4	1	
	廃棄許可	1	1		
	小 計	10	5	3	2
火薬類 立入検査等	消費場所（煙火消費場所を除く）	6		3	3
	煙火消費場所	5	4	1	
	小 計	11	4	4	3
	法令違反	0			
高圧法・液石法 許可、完成・ 保安検査	製造（変更）許可	3	3		
	貯蔵所設置（変更）許可	0			
	充てん設備（変更）許可	0			
	製造施設完成・保安検査（10万m3以上）	6	6		
	製造施設完成・保安検査（10万m3未満）	8	8		
	貯蔵所完成検査	0			
	充てん設備完成・保安検査	13	13		
小 計	30	30			
高圧ガス施設 新規、変更等 届出の受理	高圧ガス製造事業（軽微変更・変更）届受理	9	9		
	高圧ガス貯蔵所設置（軽微変更・変更）届受理	0			
	特定高圧ガス消費（変更）届受理	0			
	危害予防（変更）届受理	7	7		
	完成・保安検査結果報告書受理	2	2		
	高圧ガス販売事業（ガス種変更）届受理	0			
	高圧ガス製造、販売、貯蔵、消費承継届受理	0			
	高圧ガス製造、販売、貯蔵、消費（休止）廃止届受理	1	1		
	事故届受理	0			
	（液石法）充てん設備軽微変更届受理	2	2		
小 計	21	21			
高圧ガス施設 立入検査	第1、2種製造所	24	22	1	1
	第1、2種貯蔵所	8	7	1	
	高圧ガス販売事業所	6	6		
	アセチレン等の消費者	0			
	移動車両（検査実施場所）	1	1		
	その他	3	3		
	小 計	42	39	2	1
液石法 届出の受理	液化石油ガス設備工事届受理	0			
合 計		114	99	9	6

予防広報活動

クリスマス防火お話し会



一日消防士



警 防



水難訓練

消 防 車 両 等 現 有 状 況

(令和5年4月1日現在)

配置 署所	車種	呼称名	車名	購入年月	主要装備		
					艤装	級別	特殊装備
安来市消防本部・本署	指揮隊車	安来1	トヨタ	平成31年3月	平和		4WD
	司令車	安来8	三菱	平成21年6月	三菱		4WD
	水槽付ポンプ車	安来タンク	日野	平成22年3月	ワタ	A-2	1500L水槽 泡原液 45L
	化学車	安来化学	日産	平成11年9月 (寄贈)	吉谷	A-1	1800L水槽 泡原液 600L
	消防ポンプ車	安来2	いすゞ	平成26年3月	ワタ	A-2	4WD
	消防ポンプ車	安来4	日野	平成17年12月	ワタ	A-2	4WD 高圧噴霧装置
	消防ポンプ車 (13mブーム付多目的消防ポンプ自動車)	安来はしご	日野	令和元年11月	ワタ	A-2	900L水槽 圧縮空気泡消火装置
	高規格救急車	安来救急1	トヨタ	平成23年12月			4WD
	高規格救急車	安来救急2	トヨタ	平成19年11月			4WD
	高規格救急車	安来救急3	トヨタ	平成28年12月			4WD
	救助工作車	安来工作	日野	平成13年3月	ティエン	II型	4WD
	小型動力ポンプ付積載車	安来10	トヨタ	平成15年1月	吉谷		4WD
	資機材搬送車	安来6	いすゞ	平成27年11月	新和		4WD
	査察車	安来7	トヨタ	平成16年7月	トヨタ		
	救急講習車		日産	平成19年7月 (寄贈)			4WD
	消火通報訓練指導車		マツダ	平成13年9月			
	事務連絡車		トヨタ	平成21年10月			4WD
	人員搬送車		トヨタ	平成13年10月 (寄贈)			マイクロバス 15人
	作業車		トヨタ	平成5年06月			4WD
	救助艇		アキレス	平成22年12月			乗船人員6名 船外機 15Ps
小型動力ポンプ			平成15年01月	ワビット	B-2	安来10積載	
広瀬分署	消防ポンプ車	広瀬1	日野	令和4年3月	ワタ	A-2	4WD
	高規格救急車	広瀬救急	トヨタ	平成29年12月	トヨタ		4WD
	査察車	広瀬2	日産	平成21年06月			4WD
	小型動力ポンプ			平成30年08月	シバウラ	C-1	広瀬1積載
伯太分署	消防ポンプ車	伯太1	三菱	平成15年12月	小川	A-2	4WD
	高規格救急車	伯太救急	トヨタ	令和2年12月	トヨタ		4WD
	査察車	伯太2	トヨタ	平成13年5月 (寄贈)	トヨタ		4WD
	小型動力ポンプ			平成14年10月	トハツ	C-1	伯太1積載
比田分駐所	消防ポンプ車	比田1	日野	平成23年01月	小川	A-2	4WD
	高規格救急車	比田救急	トヨタ	平成23年12月	トヨタ		4WD
	小型動力ポンプ			平成30年08月	シバウラ	C-1	比田1積載

地域別消防水利保有状況

(令和5年4月1日現在)

種別		地域別		安来	広瀬	伯太	比田	計
防火水槽	公設	40 m ³ 未満		81		12		93
		40 m ³ 以上		48	9	13	4	74
		計		129	9	25	4	167
	私設	40 m ³ 未満		5				5
		40 m ³ 以上		53	1			54
		計		58	1			59
計			187	10	25	4	226	
消火栓	公設	地上式	双口	5				5
			単口	192	47	62	4	305
			計	197	47	62	4	310
		地下式	双口	3				3
			単口	444	181	130	43	798
			計	447	181	130	43	801
	計			644	228	192	47	1,111
	私設	地上式	双口	2				2
			単口	75				75
			計	77				77
		地下式	双口	3				3
			単口	8				8
			計	11				11
	計			88	0	0	0	88
その他	河川		3				3	
	海・湖		1				1	
	プール		2				2	
	その他		5				5	
	計			11	0	0	0	11

火 災



建物火災現場

火 災 状 況

(令和4年中)

	計	建 物	林 野	車 両	その他	損 害 額
安 来	17	7	2	1	7	82,322 千円
広 瀬	5	2			3	2,871
伯 太	6	2	3		1	4
比 田	1		1			261
計	29	11	6	1	11	85,458

過去 5 年間火災状況

			平成 30 年	令和元年 (平成 31 年)	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	
全 火 災	件 数	件	22	19	18	16	29	
	損害額	千円	59,516	22,357	25,038	77,551	85,458	
内 訳	建物火災	件 数	10	8	7	9	11	
		損害額	千円	59,380	22,286	24,032	50,294	85,100
	林野火災	件 数	5	3	2		6	
		損害額	千円	136	71			261
	車両火災	件 数			2	1	1	
		損害額	千円			1,006		97
	船舶火災	件 数						
		損害額	千円					
	航空機火災	件 数						
		損害額	千円					
	その他の火災	件 数	件	7	8	7	6	11
		損害額	千円				27,257	
建物焼損棟数		棟	18	9	13	20	45	
全 焼		棟	6	4	7	5	19	
半 焼		棟	1		2	2	1	
部分焼		棟	5	2	1	8	14	
ぼ や		棟	6	3	3	5	11	
爆 発		棟						
罹災世帯数		世帯	5	5	5	12	7	
全 損		世帯	1	3	3	2	4	
半 損		世帯		1				
小 損		世帯	4	1	2	10	3	
罹災人員		人	18	22	14	38	32	
死傷者		人	10	2	2	4	5	
死 者		人	2	1		1		
傷 者		人	8	1	2	3	5	
建物焼損面積		m ²	947	507	898	585	2,255	
林野焼損面積		a	17	34	30		73	

過去 5 年間出火率

(出火率：人口 1 万人当たりの出火件数)

	安来地域		広瀬地域		伯太地域		安来市管内	
	人 口	出火率	人 口	出火率	人 口	出火率	人 口	出火率
平成 30 年	27,448	4.7	7,005	4.3	4,509	11	38,962	5.6
令和元年 (平成 31 年)	27,087	4.1	6,832	10.2	4,435	2.3	38,354	5
令和 2 年	26,780	4.1	6,654	6	4,306	7	37,740	4.8
令和 3 年	26,369	3.8	6,530	4.6	4,217	7.1	37,116	4.3
令和 4 年	25,924	6.6	6,319	9.5	4,148	14.5	36,391	8

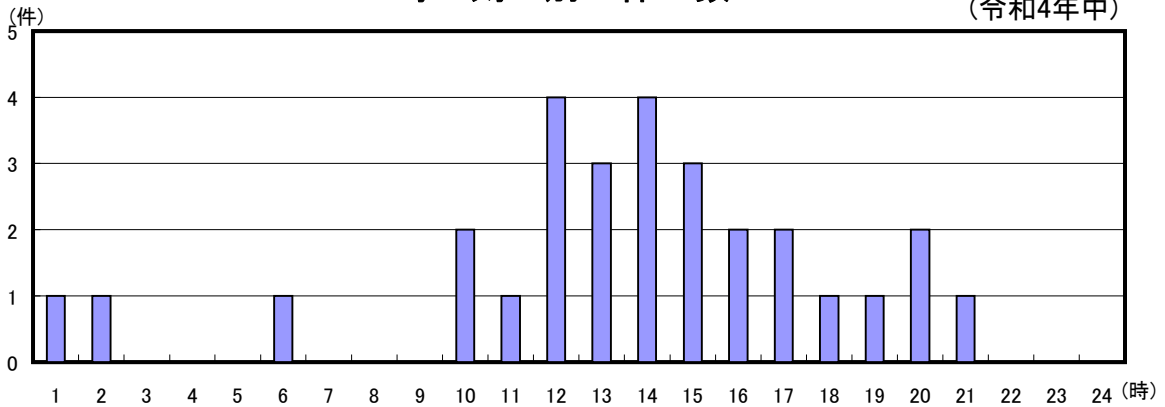
曜日別件数

(令和4年中)

曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
件数	3	4	2	3	6	8	3	29

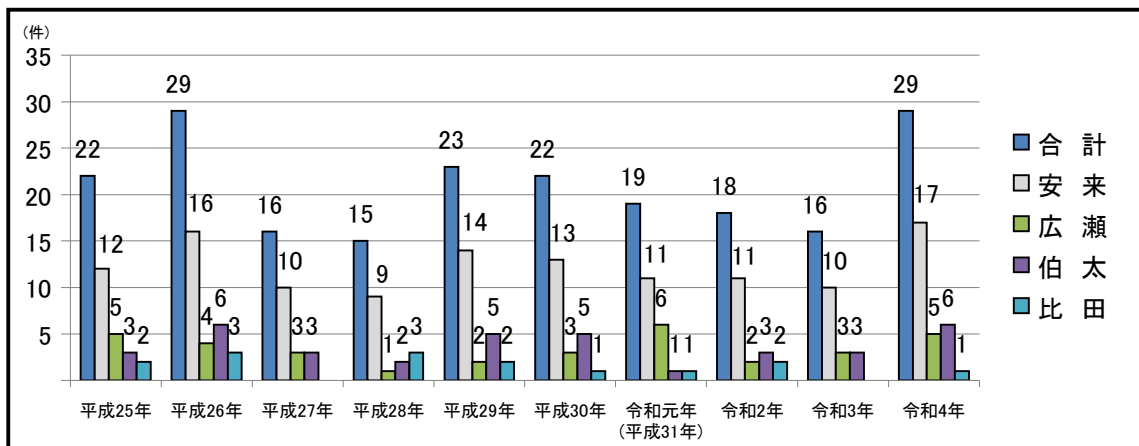
時刻別件数

(令和4年中)



地域別火災発生件数 (過去10年間)

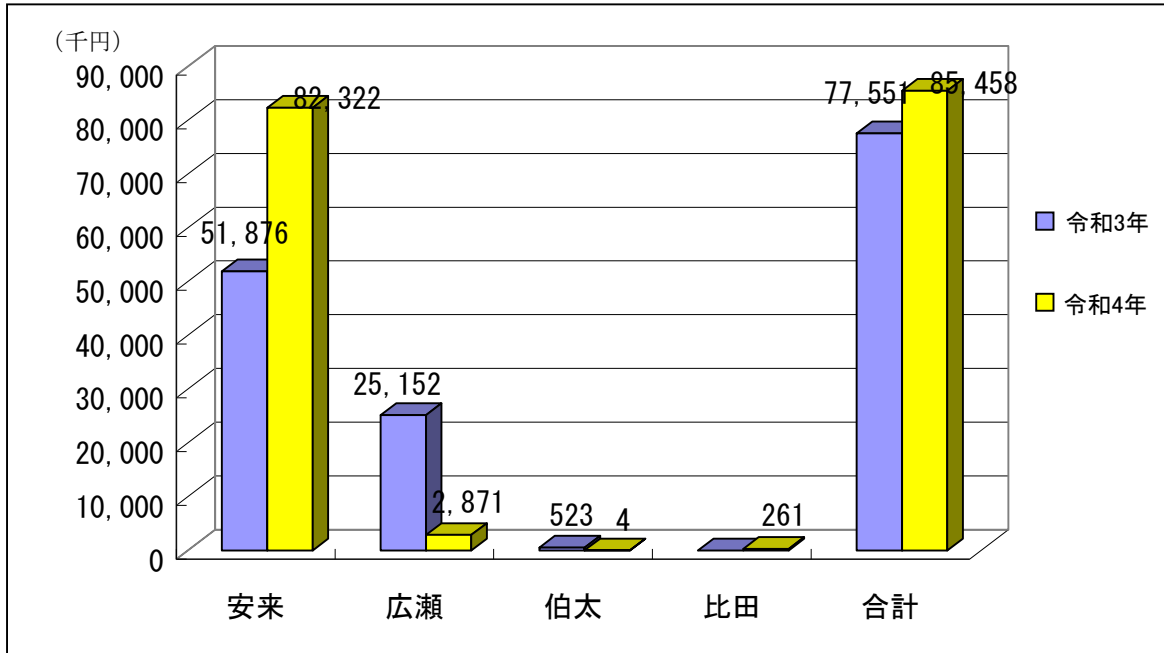
地域別	年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
合計		22	29	16	15	23	22	19	18	16	29
安来		12	16	10	9	14	13	11	11	10	17
広瀬		5	4	3	1	2	3	6	2	3	5
伯太		3	6	3	2	5	5	1	3	3	6
比田		2	3		3	2	1	1	2		1



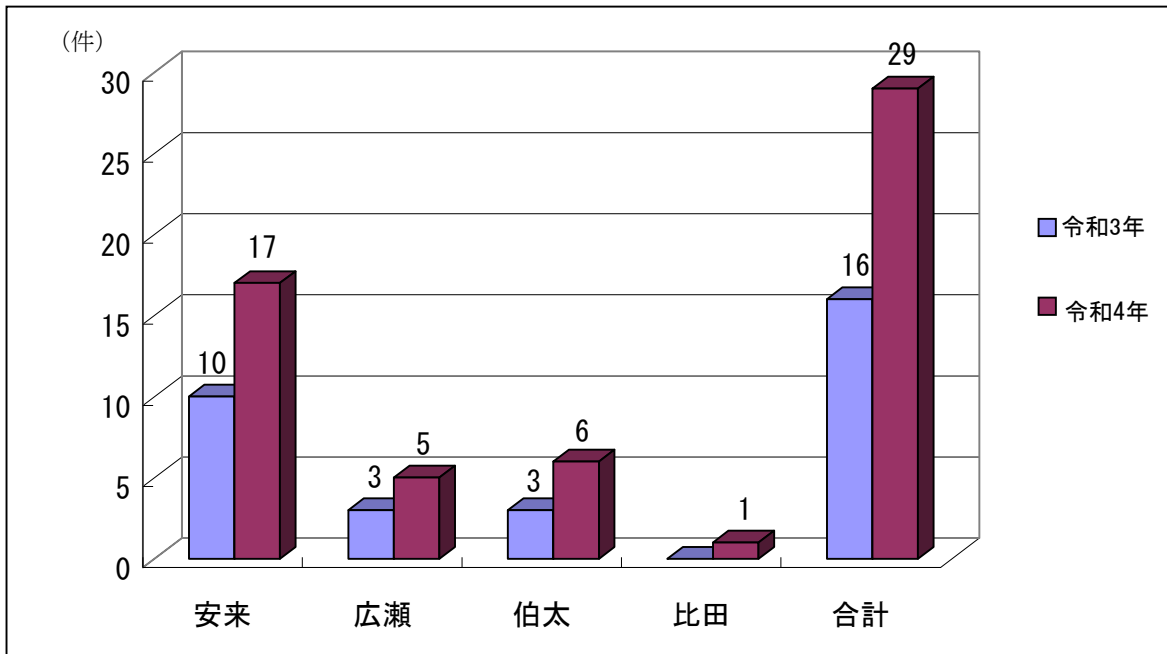
地域別火災発生状況（過去10年間）

年別	地 域 別	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合 計
平成 25年	安 来	7	1	1		3	12
	広 瀬	2	1			2	5
	伯 太	1				2	3
	比 田	1		1			2
	合 計	11	2	2	0	7	22
平成 26年	安 来	5	1	1		9	16
	広 瀬	1	1			2	4
	伯 太	3				3	6
	比 田					3	3
	合 計	9	2	1	0	17	29
平成 27年	安 来	2	1	1		6	10
	広 瀬	1	1			1	3
	伯 太	1		1		1	3
	比 田						
	合 計	4	2	2	0	8	16
平成 28年	安 来	4	1			4	9
	広 瀬					1	1
	伯 太		1			1	2
	比 田		2			1	3
	合 計	4	4	0	0	7	15
平成 29年	安 来	7		1		6	14
	広 瀬	1				1	2
	伯 太	2		1		2	5
	比 田	1	1				2
	合 計	11	1	2	0	9	23
平成 30年	安 来	8	2			3	13
	広 瀬	1				2	3
	伯 太	1	2			2	5
	比 田		1				1
	合 計	10	5	0	0	7	22
令和 元年 (平成 31年)	安 来	6				5	11
	広 瀬	2	3			1	6
	伯 太					1	1
	比 田					1	1
	合 計	8	3	0	0	8	19
令和 2年	安 来	4		2		5	11
	広 瀬					2	2
	伯 太	2	1				3
	比 田	1	1				2
	合 計	7	2	2	0	7	18
令和 3年	安 来	5				5	10
	広 瀬	2				1	3
	伯 太	2		1			3
	比 田						0
	合 計	9	0	1	0	6	16
令和 4年	安 来	7	2	1		7	17
	広 瀬	2				3	5
	伯 太	2	3			1	6
	比 田		1				1
	合 計	11	6	1	0	11	29

地域別火災損害状況 令和3年・令和4年



地域別火災発生件数 令和3年・令和4年



月別原因別火災発生件数

(令和4年中)

原因別 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
ストーブ		1											1
電気装置（その他の開閉器）							1						1
マッチ					1								1
たき火	1			2									3
火入れ（枯れ草焼き）			3	1	2			1					7
不明	1	1			2	2		1	2				9
その他		2	1	1	1			2					7
計	2	4	4	4	6	2	1	4	2	0	0	0	29

月 別 火 災

月 別	区分 地域別	全火災		内 訳												爆発		
		件 数	損 害 額 千円	建物		林野		車両		船舶		航空機		その他		件 数	損 害 額 千円	
				件 数	損 害 額 千円	件 数	損 害 額 千円	件 数	損 害 額 千円	件 数	損 害 額 千円	件 数	損 害 額 千円	件 数	損 害 額 千円			
1	安来	1													1			
	広瀬	1	2,800	1	2,800													
	伯太																	
	比田																	
2	安来	4	22,622	3	22,622	1												
	広瀬																	
	伯太																	
	比田																	
3	安来	1	97					1	97									
	広瀬	2												2				
	伯太	1				1												
	比田																	
4	安来	2				1									1			
	広瀬	1													1			
	伯太	1				1												
	比田																	
5	安来	3	18,855	2	18,855										1			
	広瀬	1	71	1	71													
	伯太	1													1			
	比田	1	261			1	261											
6	安来	2	2,549	1	2,549										1			
	広瀬																	
	伯太																	
	比田																	
7	安来	1													1			
	広瀬																	
	伯太																	
	比田																	
8	安来	1													1			
	広瀬																	
	伯太	3	4	2	4	1												
	比田																	
9	安来	2	38,199	1	38,199										1			
	広瀬																	
	伯太																	
	比田																	
10	安来																	
	広瀬																	
	伯太																	
	比田																	
11	安来																	
	広瀬																	
	伯太																	
	比田																	
12	安来																	
	広瀬																	
	伯太																	
	比田																	
計	安来	17	82,322	7	82,225	2		1	97						7			
	広瀬	5	2,871	2	2,871										3			
	伯太	6	4	2	4	3								1				
	比田	1	261			1	261											
合計	29	85,458	11	85,100	6	261	1	97	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0

※①面積について小数点以下は四捨五入、損害額について千円以下は四捨五入して計上しています。

発生状況

(令和4年中)

焼損棟数				罹災世帯数			罹災人員 人	死者 人	傷者 人	焼床 面積 ㎡	焼表 面積 ㎡	林 野 a	そ の 他 ㎡
全 焼 棟	半 焼 棟	部 分 焼 棟	ぼ や 棟	全 損 世帯	半 損 世帯	小 損 世帯							
													106
2		2								204	25		
8			1	2			9		1	671			
													7,432
												23	
												16	569
													77
												2	
6	1	8	10	2		3	23		4	673	34		152
		1								2			150
												27	
1		1								181			88
													76
													152
1		2								12	11	5	
1										512			
16	1	9	11	4		3	32		5	2,037	34	16	1,143
2		3								206	25		7,659
1		2								12	11	30	
												27	
19	1	14	11	4	0	3	32	0	5	2,255	70	73	8,802

救急・救助



救急・救助現場

救 急 活 動 (件)												
(令和4年中)												
	計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
件数	2,168	5	0	2	118	20	4	366	4	20	1,289	340
人員	2,006	4	0	0	103	20	4	353	2	19	1,200	301

救 助 活 動 (件)				
(令和4年中)				
	計	交通事故	水難事故	その他の事故
件数	22	10	5	7

救急活動状況

(令和4年中)

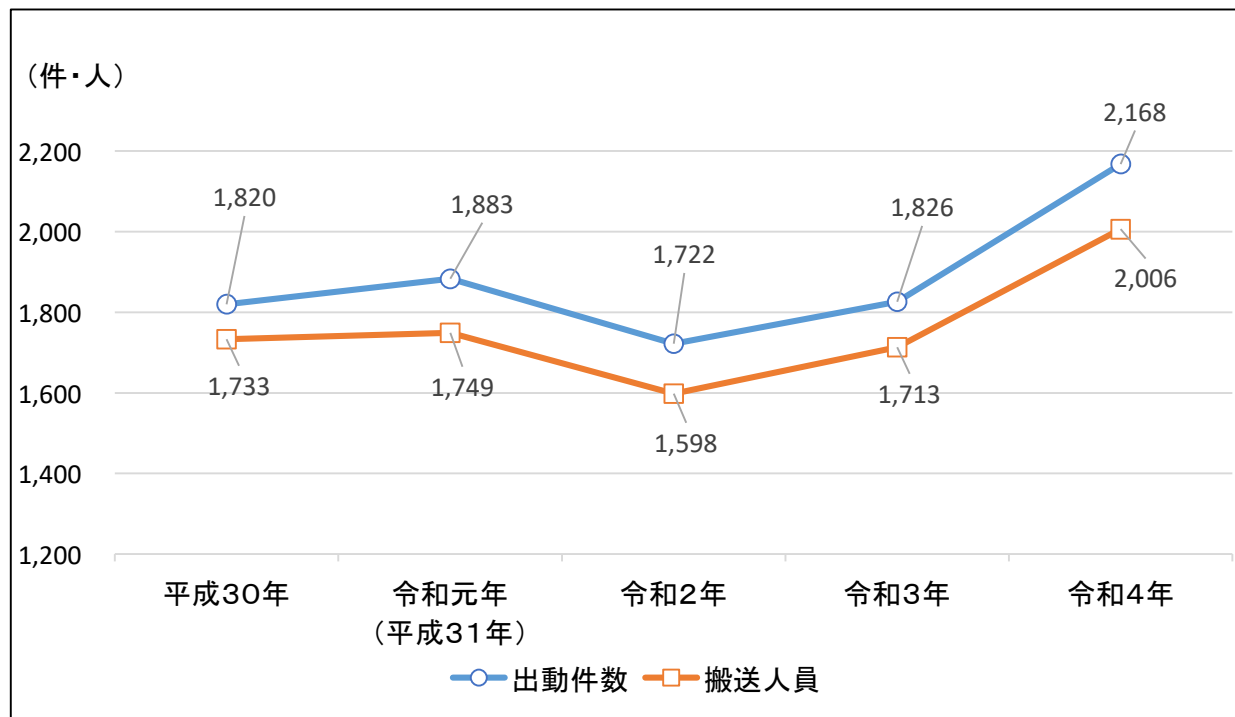
事故種別		署所別				合 計 (構成比%)	
		安来市消防署	広瀬分署	伯太分署	比田分駐所		
火 災	出 動 件 数	2		2	1	5 (0.2%)	
	搬 送 人 員	2		2		4 (0.2%)	
自然災害	出 動 件 数					0 (0.0%)	
	搬 送 人 員					0 (0.0%)	
水 難	出 動 件 数	1	1			2 (0.1%)	
	搬 送 人 員					0 (0.0%)	
交通事故	出 動 件 数	85	14	16	3	118 (5.4%)	
	搬 送 人 員	75	10	16	2	103 (5.1%)	
労働災害	出 動 件 数	15	3	2		20 (0.9%)	
	搬 送 人 員	15	3	2		20 (1.0%)	
運動競技	出 動 件 数	3	1			4 (0.2%)	
	搬 送 人 員	3	1			4 (0.2%)	
一般負傷	出 動 件 数	246	53	52	15	366 (16.9%)	
	搬 送 人 員	237	51	51	14	353 (17.6%)	
加 害	出 動 件 数	4				4 (0.2%)	
	搬 送 人 員	2				2 (0.1%)	
自損行為	出 動 件 数	15	3	1	1	20 (0.9%)	
	搬 送 人 員	14	3	1	1	19 (0.9%)	
急 病	出 動 件 数	817	247	189	36	1,289 (59.5%)	
	搬 送 人 員	754	231	180	35	1,200 (59.8%)	
その他	転院搬送	出 動 件 数	178	119	5	1	303 (14.0%)
		搬 送 人 員	177	119	5		301 (15.0%)
	医師搬送	出 動 件 数	31	2			33 (1.5%)
	資機材等搬送	出 動 件 数					0 (0.0%)
	その他	出 動 件 数	3	1			4 (0.2%)
		搬 送 人 員					0 (0.0%)
合 計	出 動 件 数	1,400	444	267	57	2,168 (100.0%)	
	搬 送 人 員	1,279	418	257	52	2,006 (100.0%)	

5年間のドクターヘリ・ドクターカー要請件数

要請区分	年別	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
島根県ドクターヘリ*1 (平成23年6月13日～)		4	2	8	4	2
鳥取県ドクターヘリ (平成30年3月26日～)		90	144	119	167	153
鳥取大学医学部附属病院ドクターカー (平成25年10月28日～)		33	12	16	41	28
島根大学医学部附属病院 高度外傷センタードクターカー (令和4年1月4日～)						2

*1 島根県ドクターヘリ運航要領改正(平成28年2月1日)に伴い、救急告示病院から10分圏域の現場救急は原則、陸路搬送を選択するものとなった。

5年間の救急活動状況



事故種別		年					
		平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	
火 災	出 動 件 数	7	1	3	3	5	
	搬 送 人 員	6	1	2	3	4	
自然災害	出 動 件 数						
	搬 送 人 員						
水 難	出 動 件 数	3		3	6	2	
	搬 送 人 員	1		2	4		
交通事故	出 動 件 数	117	90	86	99	118	
	搬 送 人 員	113	84	79	91	103	
労働災害	出 動 件 数	19	28	18	23	20	
	搬 送 人 員	17	27	18	21	20	
運動競技	出 動 件 数	15	8	12	8	4	
	搬 送 人 員	15	7	11	8	4	
一般負傷	出 動 件 数	329	291	300	301	366	
	搬 送 人 員	322	282	287	295	353	
加 害	出 動 件 数	3	3	4	3	4	
	搬 送 人 員	2	1	1	3	2	
自損行為	出 動 件 数	10	24	23	12	20	
	搬 送 人 員	6	12	10	11	19	
急 病	出 動 件 数	1,063	1,144	1,024	1,039	1,289	
	搬 送 人 員	1,011	1,070	973	998	1,200	
その他	転院搬送	出 動 件 数	240	265	216	279	303
		搬 送 人 員	240	264	215	278	301
	医師搬送 資機材等搬送	出 動 件 数	11	27	30	52	33
		出 動 件 数					
その他	出 動 件 数	3	2	3	1	4	
	搬 送 人 員		1		1		
合 計	出 動 件 数	1,820	1,883	1,722	1,826	2,168	
	搬 送 人 員	1,733	1,749	1,598	1,713	2,006	
1 日 平 均 出 動 件 数		5.0	5.2	4.7	5.0	5.9	
1 日 平 均 搬 送 人 員		4.7	4.8	4.4	4.7	5.5	

地域別出動件数

(令和4年中)

地域別 出動隊	安 来	広 瀬	伯 太	比 田	管轄外	合 計
安来救急隊	1,344	38	16	1	1	1,400
広瀬救急隊	66	326		52		444
伯太救急隊	60		206	1		267
比田救急隊	4	2		51		57
合 計	1,474	366	222	105	1	2,168

年齢区分別搬送人員

(令和4年中)

事故種別 年齢区分 *2	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児										1	1	2
乳 幼 児				1			7			39	1	48
少 年				10		2	2			26	3	43
成 人	3			46	15	1	43	1	17	203	51	380
高 齢 者	1			46	5	1	301	1	2	931	245	1,533
合 計	4	0	0	103	20	4	353	2	19	1,200	301	2,006

*2新生児とは生後28日未満をいう。乳幼児とは生後28日以上7歳未満をいう。少年とは7歳以上18歳未満をいう。成人とは18歳以上65歳未満をいう。高齢者とは65歳以上をいう。

傷病程度別搬送人員

(令和4年中)

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
軽 症				63	5	3	132	2	5	427	29	666
中 等 症	3			30	13	1	202		3	651	216	1,119
重 症	1			8	2		18		8	102	56	195
死 亡				2			1		3	20		26
そ の 他												0
合 計	4	0	0	103	20	4	353	2	19	1,200	301	2,006

覚知曜日別出動件数

(令和4年中)

事故種別 覚知曜日	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
日曜日				17	1		55		5	179	17	274
月曜日				11	1	2	47		3	206	59	329
火曜日				21	3		59	1	1	192	57	334
水曜日	1			16	6		46		8	187	71	335
木曜日			1	14	3		49	3	2	171	54	297
金曜日			1	22	3	1	59			170	56	312
土曜日	4			17	3	1	51		1	184	26	287
合 計	5	0	2	118	20	4	366	4	20	1,289	340	2,168

時間帯別出動件数

(令和4年中)

事故種別 時間帯	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
00:00~ 01:59				6	1		7			47	5	66
02:00~ 03:59				1	1		10			39	2	53
04:00~ 05:59				3			12	1		46	2	64
06:00~ 07:59				7	1		35		3	109	2	157
08:00~ 09:59				13	4	2	55		1	150	31	256
10:00~ 11:59	1			19	2	1	58		4	178	58	321
12:00~ 13:59				14	3		38		4	131	93	283
14:00~ 15:59			1	18	2	1	44	2	2	124	69	263
16:00~ 17:59	4		1	15	3		35		1	135	45	239
18:00~ 19:59				12	1		42		1	157	17	230
20:00~ 21:59				8	1		16	1	1	109	11	147
22:00~ 23:59				2	1		14		3	64	5	89
合 計	5	0	2	118	20	4	366	4	20	1,289	340	2,168

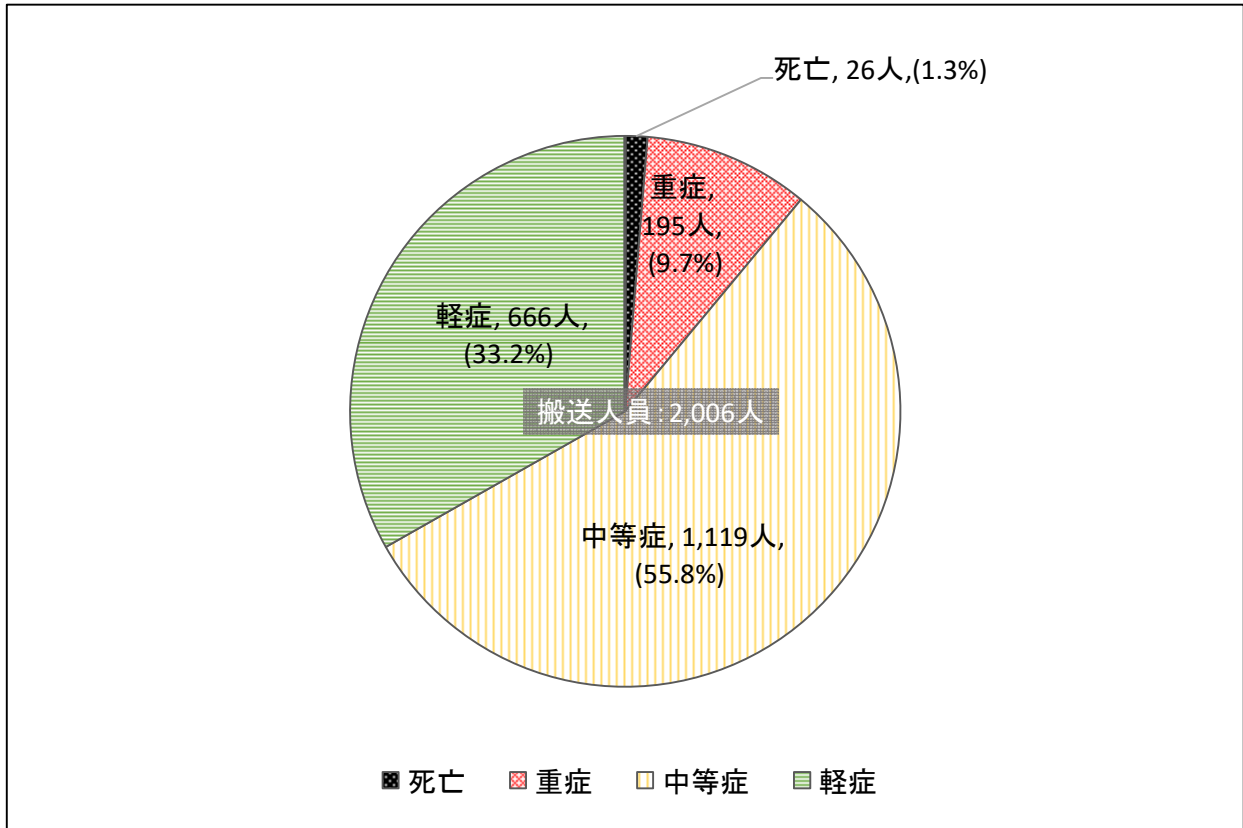
月別救急活動状況

(令和4年中)

月別	事故種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
		炎	害	難	事	災	競	負		行		他	
					故	害	技	傷		為			
1月	出動件数				6	1		22			104	28	161
	搬送人員				5	1		21			94	25	146
2月	出動件数				7	2		23	1	2	91	25	151
	搬送人員				5	2		22	1	2	86	24	142
3月	出動件数				10	3		26		2	88	30	159
	搬送人員				8	3		25		2	80	25	143
4月	出動件数				8	1		36		2	98	34	179
	搬送人員				7	1		35		2	95	31	171
5月	出動件数	5		1	10	2		36		3	94	35	186
	搬送人員	4			7	2		35		3	88	28	167
6月	出動件数				7	2	2	21	1	1	91	29	154
	搬送人員				6	2	2	20	1	1	87	27	146
7月	出動件数				19	2		25		1	137	21	205
	搬送人員				19	2		24		1	126	19	191
8月	出動件数			1	16	2		31		3	141	22	216
	搬送人員				13	2		30		3	129	20	197
9月	出動件数				10		1	32	2	2	115	26	188
	搬送人員				10		1	32		2	112	24	181
10月	出動件数				5	3		40		2	98	24	172
	搬送人員				6	3		39		1	93	21	163
11月	出動件数				15	1		34		2	102	32	186
	搬送人員				13	1		32		2	95	28	171
12月	出動件数				5	1	1	40			130	34	211
	搬送人員				4	1	1	38			115	29	188
合計	出動件数	5	0	2	118	20	4	366	4	20	1,289	340	2,168
	搬送人員	4	0	0	103	20	4	353	2	19	1,200	301	2,006

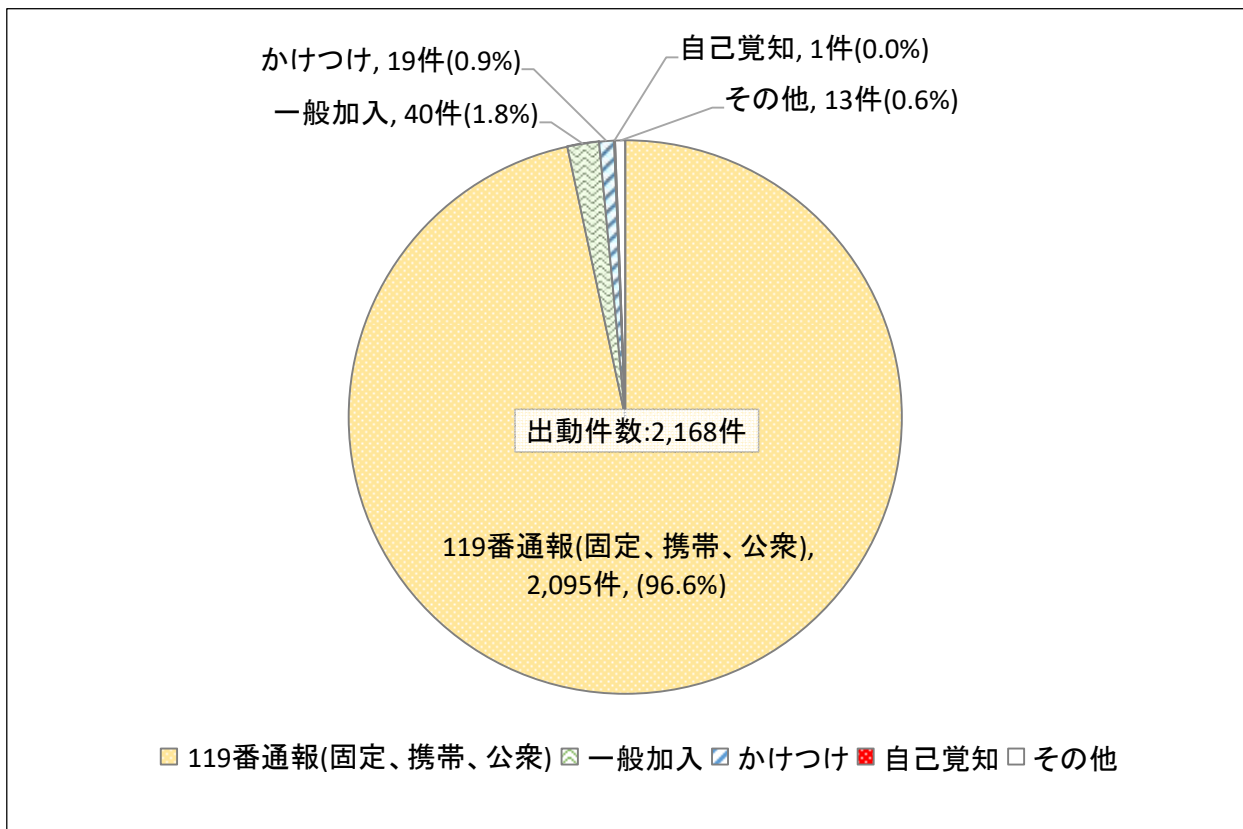
傷病程度別搬送人員

(令和4年中)



覚知方法別出動件数

(令和4年中)



5年間の現場到着所要平均時間 *3

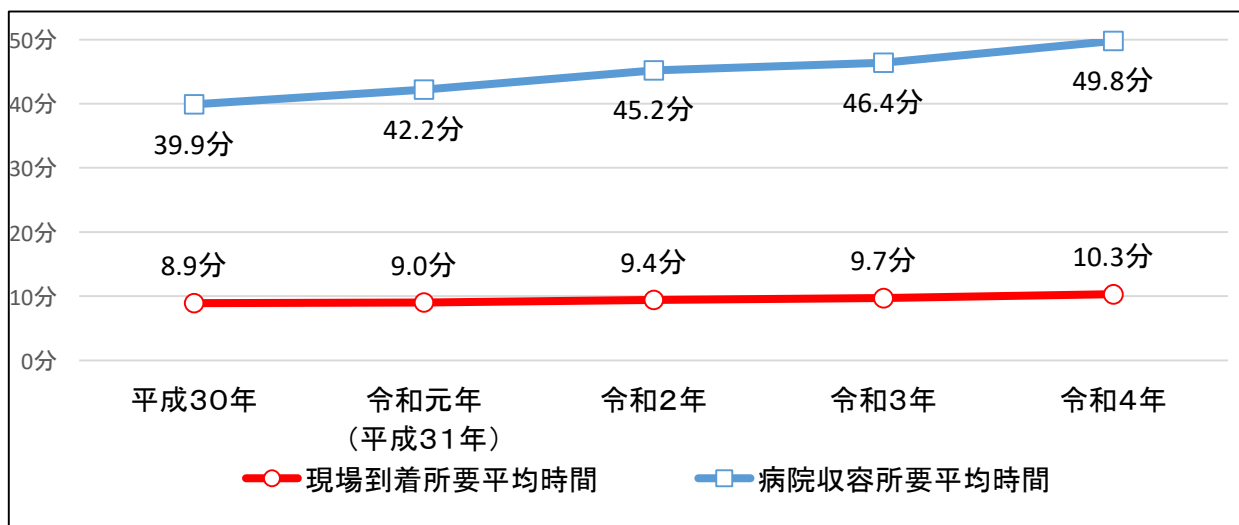
署所別 \ 年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
安来市消防署	8.8分	9.1分	9.1分	9.7分	10.1分
広瀬分署	9.2分	8.8分	9.7分	9.5分	10.6分
伯太分署	9.0分	9.2分	10.5分	9.8分	10.2分
比田分駐所	9.6分	9.2分	10.5分	12.0分	13.3分
全体*4、5	8.9分	9.0分	9.4分	9.7分	10.3分
現場到着最短時間	0分	1分	0分	0分	0分
現場到着最長時間	41分	47分	42分	60分	60分

*3平成27年2月19日に消防庁舎移転、通信指令システム運用開始。*4現場到着所要時間とは119番入電から救急隊が現場に到着するまでに要した時間。*5小数点第2位を四捨五入のため、比率は一致しない。

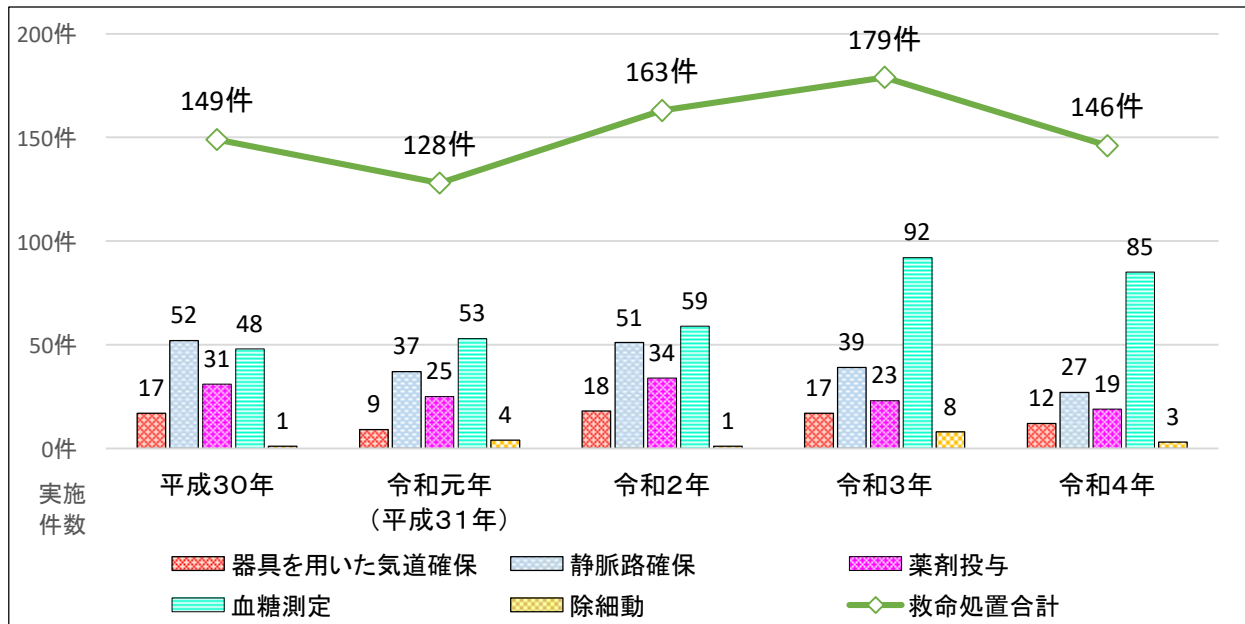
5年間の病院収容所要平均時間 *6

署所別 \ 年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
安来市消防署	39.1分	41.2分	43.1分	44.8分	48.0分
広瀬分署	41.7分	42.5分	47.1分	48.7分	51.5分
伯太分署	43.4分	44.4分	50.1分	48.4分	52.6分
比田分駐所	47.6分	50.8分	57.9分	59.4分	68.0分
全体*7、8	39.9分	42.2分	45.2分	46.4分	49.8分
病院収容最短時間	15分	14分	13分	12分	18分
病院収容最長時間	105分	160分	141分	161分	142分

*6平成27年2月19日に消防庁舎移転、通信指令システム運用開始。*7病院収容所要時間とは119番入電から医療機関に収容(医師に引き継ぎ)するまでに要した時間。*8小数点第2位を四捨五入のため、比率は一致しない。



5年間の救急救命処置実施数の推移



年	処置			血糖測定	静脈路確保*9		薬剤投与*9		除細動	合計
	LT等	気管挿管	その他		CPA前	CPA後	ブドウ糖	アドレナリン		
平成30年	12	5		48		42		28	1	149
	17				52	31				
令和元年 (平成31年)	5	4		53	15	22	4	21	4	128
	9				37	25				
令和2年	12	6		59	19	32	5	29	1	163
	18				51	34				
令和3年	6	11		92	12	27	1	22	8	179
	17				39	23				
令和4年	7	5		85	8	19	4	15	3	146
	12				27	19				

*9平成29年1月16日から処置拡大2行為(心停止前重症傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定及び低血糖発作傷病者へのブドウ糖投与)運用開始。

5年間の心肺機能停止傷病者搬送件数

事故種別	年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
急病		42	31	47	43	32
交通事故		3	3	1		2
一般負傷		6		1	4	2
自損行為		3	2	7	2	7
上記以外		2	3	1	2	1
合計		56	39	57	51	44
市民による一次救命処置*10*11 (実施率%)		37 66.1%	26 66.7%	35 61.4%	37 72.5%	29 65.9%

*10平成27年2月19日から通信指令システム運用開始。*11一次救命処置とは胸骨圧迫と人工呼吸からなる心肺蘇生法、及びAEDを用いた心肺蘇生法を主な内容とする。

5年間の応急手当普及啓発実施状況

年 講習種別	平成30年		令和元年 (平成31年)		令和2年		令和3年		令和4年	
	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数
上級救命講習										
普通救命講習	21	381	23	346	11	156	20	226	9	43
救命入門コース	80	2,272	88	2,407	27	547	32	587	32	409
応急手当普及員講習			3	4	1	1	1	1		
応急手当指導員講習			1	1					1	1
その他(上記以外の講習) *12	2		4	52	1	9	2	19	2	395
合計	103	2,653	119	2,810	40	713	55	833	44	848
*12その他(上記以外の講習)とは各種イベントや地域・学校行事などで行われた救急講習を指す。										

救助活動状況

(令和4年中)

事故種別 区分		火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	計	
		災	通	難	水	械	物	ス	裂	の		
		害	故	事	害	による	等	及	事	他		
		災	故	故	害	による	による	び	故	の		
		害	故	故	害	による	による	酸	故	の		
		害	故	故	害	による	による	欠	故	の		
		害	故	故	害	による	による	事	故	の		
		害	故	故	害	による	による	故	故	の		
		害	故	故	害	による	による	故	故	の		
出動件数			17	5		1	6			4	33	
活動件数			10	5			4			3	22	
救助人員			12	5			4			3	24	
高速道路等 (山陰道)			3								3	
傷病程度	軽 症		5	2						1	8	
	中 等 症		1	1			2			2	6	
	重 症		2								2	
	死 亡		1	1			1				3	
	無 し		3	1			1				5	
	計		0	12	5	0	0	4	0	0	3	24
出動人員	救助隊員		70	11		5	21			13	120	
	消防隊員	ポンプ隊		3	7			3			3	16
		はしご隊										0
		化学隊										0
		指揮隊		20	7							27
		その他		9	7			2			2	20
	救急隊員		79	16		4	15			14	128	
	団 員										0	
	計		0	181	48	0	9	41	0	0	32	311
出動車両	救助工作車		15	2		1	5			3	26	
	ポンプ車		3	3			1			1	8	
	はしご車										0	
	化学車										0	
	指揮車		6	2							8	
	そ の 他		1	2		1	1			2	7	
	救急車		25	5		1	5			4	40	
	団 車 両										0	
	計		0	50	14	0	3	12	0	0	10	89

※傷病程度「無し」とは、医師の死亡診断や救急搬送の必要がないものなど、傷病程度がつかないもの。

通信指令



高機能消防指令システム

無 線 通 信 施 設

(令和5年4月1日現在)

区分	場所	種別・識別信号	数量	出力	備考	周波数	
多 重 線	安来	固定局	しょうぼうやすぎ	1	63mW		多重
	三坂		しょうぼうみさか	1	63mW		多重
消 防 救 急 デ ジ タ ル 無 線	安来	基地局	しょうぼうやすぎ	1	20W		活動波2波 主運用波 統制波
	山佐		しょうぼうやまさ	1	20W		
	上の台		しょうぼううえのだい	1	10W		
	本 署	移動局	やすぎ 1~10	10	5W	車載型	活動波2波 主運用波 統制波
			やすぎ 101~121	21	1W	携帯型	
			やすぎ 201~205	5	1W	車載型	
			やすぎきゅうきゅう 1~3	3	5W		
			やすぎこうさく 1	1	5W		
			やすぎかがく 1	1	5W		
			やすぎはしご 1	1	5W		
	合計	42					
	広 瀬 分 署	移動局	ひろせ 1	1	5W	車載型	活動波2波 主運用波 統制波
			ひろせ 2	1	5W		
			ひろせきゅうきゅう 1	1	5W		
			ひろせ 30	1	5W	可搬型	
			ひろせ 301~304	4	1W	携帯型	
			合計	8			
	伯 太 分 署	移動局	はくた 1	1	5W	車載型	活動波2波 主運用波 統制波
			はくた 2	1	5W		
			はくたきゅうきゅう 1	1	5W	可搬型	
			はくた 50	1	5W		
			はくた 501~504	4	1W	携帯型	
			合計	8			
比 田 分 駐 所	移動局	ひだ 1	1	5W	車載型	活動波2波 主運用波 統制波	
		ひだきゅうきゅう 1	1	5W			
		ひだ 40	1	5W	可搬型		
		ひだ 401、402	2	1W	携帯型		
		合計	5				
ア ナ ロ グ 無 線	移動局	やすぎ53~55 ひろせ101 はくた101	5	5W	携帯型	防災相互波	

覚知種別・受信種別受信件数

(令和4年中)

覚知種別 \ 受信種別	火災	救急	救助	その他災害	いたずら	間違い	問い合わせ	試験	その他	他本部への 転送切断	合計
加入電話 119番	6	788	2	4		9	5	178	195	4	1,191
携帯電話 119番	38	803	19	11	3	40	18	29	200	56	1,217
IP電話 119番	8	491		3		8	7		56		573
加入電話	1	25	2	14			56				98
駆け付け	1	10						1,096	6		1,113
アナログ 119	5	23	5	1		2	1	2	19	1	59
合計	59	2,140	28	33	3	59	87	1,305	476	61	4,251

火災等の問い合わせ電話利用状況

(令和4年中)

月別 \ 区別	火災件数	受信回数	1日最高回数	1日平均回数
1月	2	473	111	15.26
2月	4	795	333	28.40
3月	4	1221	445	39.39
4月	4	1774	328	59.14
5月	6	2500	834	80.65
6月	2	811	290	27.04
7月	1	541	132	17.46
8月	4	840	116	27.10
9月	2	897	248	29.90
10月		681	100	21.97
11月		536	114	17.87
12月		582	76	18.78
計	29	11,651		31.92

119番受信時の口頭指導実施状況

(令和4年中)

救急種別 指導内容	急病	一般	交通	転院	水難	労災	運動	自損	加害	火災	合計
C P R											0
気道確保	5										5
人工呼吸											0
胸骨圧迫	46	2	1					8			57
異物除去 (背部叩打、ハイムリック)	2	2									4
A E D (携行、装着)	1										1
除細動											0
体位指導	18					1					19
止血	13	45	7			8	1	1	1		76
固定											0
保温	6	2									8
移動	21		1			2	1	1			26
冷却	11	3				2	2				18
ハンズフリー機能	15	1						4			20
その他の指導	8	3				6		1			18
合計	146	58	9	0	0	19	4	15	1	0	252

消防団

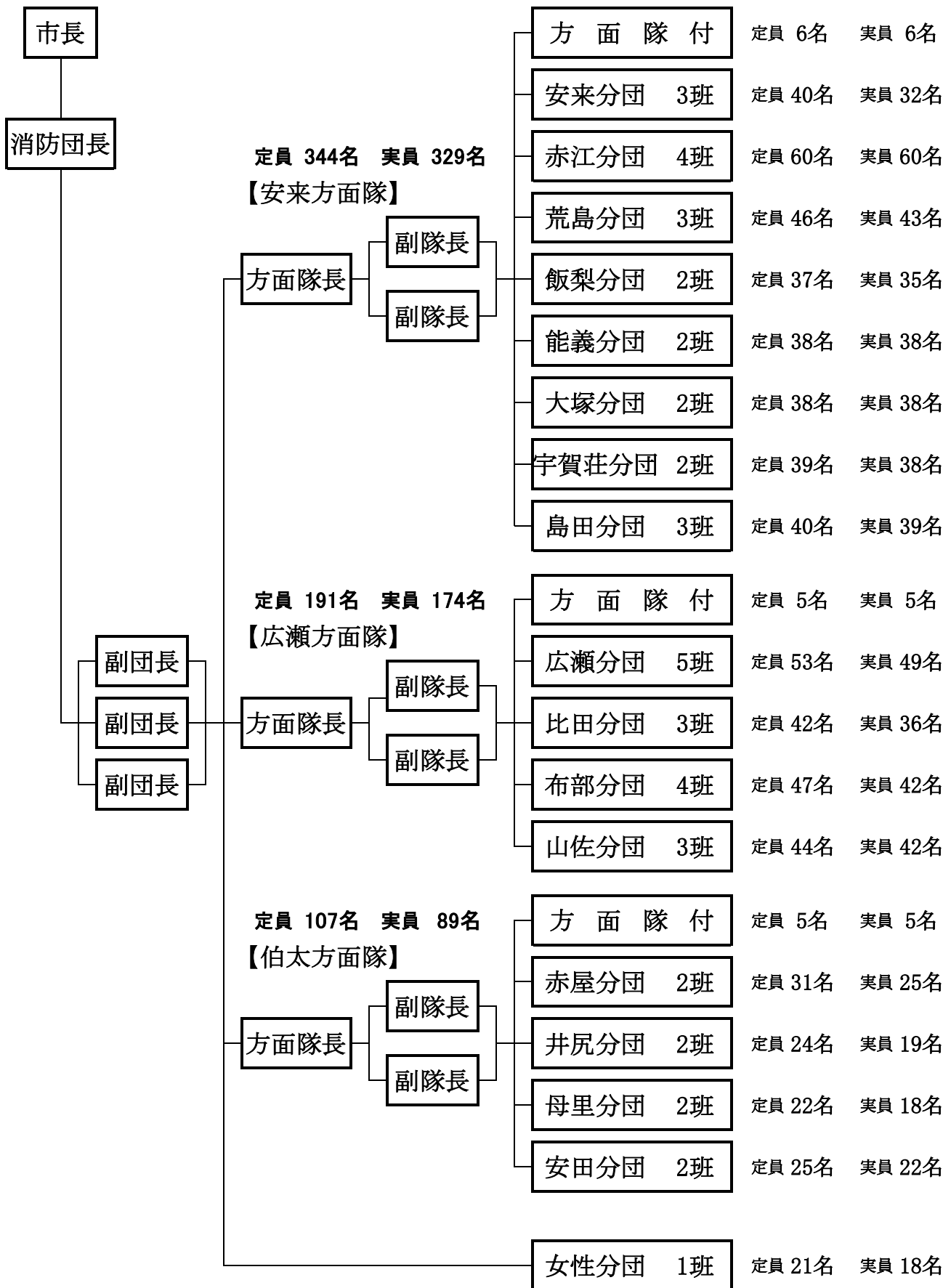


女性消防団水防訓練

消防団の組織図

(令和5年4月1日)

定員 667名 実員 614名



消 防 団 の 施 設 状 況

(令和5年4月1日現在)

【安来方面隊】

分団名 装 備	安来分団	赤江分団	荒島分団	飯梨分団	能義分団	大塚分団	宇賀荘分団	島田分団	計
消防ポンプ自動車	1		1	1					3
小型動力ポンプ付積載車	1	4	2	1	2	2	2	3	17
小型動力ポンプ									0
合 計	2	4	3	2	2	2	2	3	20

【広瀬方面隊】

分団名 装 備	広瀬分団	布部分団	比田分団	山佐分団	計
消防ポンプ自動車	1	1			2
小型動力ポンプ付積載車	4	3	3	3	13
小型動力ポンプ					0
合 計	5	4	3	3	15

【伯太方面隊】

分団名 装 備	赤屋分団	井尻分団	母里分団	安田分団	計
消防ポンプ自動車			2		2
小型動力ポンプ付積載車	2	2		2	6
小型動力ポンプ					0
合 計	2	2	2	2	8

消 防 団 員 数

(令和5年4月1日現在)

階級 人員	団 長	副団長	方面隊長 (副団長)	副方面隊長 (分団長)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
実員(人)	1	3	3	6	24 (1)	17 (1)	32 (1)	59 (1)	469 (15)	614 (19)

() は、女性団員数

消防団員年額報酬

(令和5年4月1日現在)

団 長	副団長 方面隊長	方面副隊長 分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円

消防団員費用弁償

(令和5年4月1日現在)

火 災	風 水 害	警 戒	訓 練	警戒パトロール
8,000円	8,000円	3,000円	3,000円	3,000円

消防団員の年齢構成

(令和5年4月1日現在)

総 数	20	21	26	31	36	41	46	51	56	平 均
	才 以 下	2 5 才	2 3 才	3 5 才	3 6 才	4 1 才	4 6 才	5 1 才	5 6 才 以 上	
614 (19)	0 (0)	8 (0)	29 (3)	55 (0)	118 (1)	143 (3)	131 (8)	75 (3)	55 (1)	44.03 (44.74)

() は、女性団員数

消防団員の勤続年数

(令和5年4月1日現在)

総 数	5年未満	5年~9年	10年~14年	15年~19年	20年~24年	25年~29年	30年以上	平 均
614 (19)	116 (1)	116 (10)	100 (4)	101 (2)	82 (2)	59 (0)	40 (0)	14.32 (9.84)

() は、女性団員数

消防団員の研修状況

(令和5年4月1日現在)

教科		年度						R元 (H31)	R2	R3	R4	計
		25	26	27	28	29	30					
島根県消防学校	初級幹部教育	3		3	2	6	6	4				24
	中級幹部教育	4										4
	上級幹部教育			3								3
	指揮幹部科					6	6	7		2		21
	消防団員 指導員研修課程						2	2	2			6
日本消防会館 消防団幹部候補中央特別研修				1(1)		1(1)	1(1)	1(1)			2(1)	6(5)
計		7	0	7(1)	2	13(1)	15(1)	14(1)	2	2	2(1)	64(4)

() は、女性団員数

令和4年版 消 防 年 報

編集・発刊 安来市消防本部

〒692-0014 島根県安来市飯島町711番地1

TEL 0854(22)0119

FAX 0854(23)1987